

中岳



Top contents

平成27年度 社団法人熊本市歯科医師会 定時総会	2
新執行部紹介	9
歯の祭典.....	24
第39回熊本市歯科医師会親睦大会.....	28



CONTENTS

巻頭言	宮本格尚会長	1
平成27年度社団法人熊本市歯科医師会 定時総会		2
平成27年度社団法人熊本市歯科医師会 審議委員会		5
新執行部紹介		9
平成27年度第1回国立病院機構熊本医療センター 熊本市歯科医師会連絡協議会		14
医歯連携セミナー		16
平成27年度 熊本市歯科医師会第1回学術講演会		18
歯の祭典		24
平成27年度『歯っぴーキッズ』		26
歯磨き巡回指導		27
第39回熊本市歯科医師会親睦大会（ビアパーティー）		28
合同委員会		30
スタディー 歯質の保存・歯の保存 ～破折線からの考察～	片山 建一	32
委員会紹介（学術委員会・医療管理委員会・社保委員会）		36
支部だより（北部3支部）		45
新入会員紹介		46
スポーツの広場（ゴルフ）		47
フリートーク 「かななし3人衆」	奥田 良樹	48
会務報告		52
編集後記		

表紙のことば

久しぶりに開催された熊本市の花火大会。
夏の最後を飾るにふさわしく、幻想的な夜空
を作り出していました。

（M. A）

巻 頭 言

会員と市民のためになる運営を



宮本 尚 会長

去る6月25日に行われました一般社団法人熊本市歯科医師会定時総会におきまして、新しく13名の理事と2名の監事が承認されました。そして、その後行われました臨時理事会における互選により2期目の会長に選任されました。

1期目は、会長職と言う重責に大きなプレッシャーを感じながら、目の前の職務に必死で取り組んだ2年間でした。この間、私の力不足を支えて頂きました執行部や事務局、会員の皆様に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

2期目の大きな課題としては、行政区にあわせた支部割の見直し、会費の均等割り一本化、会員種別の見直しがあります。

熊本市が政令指定都市に移行し3年が経過し、今後、区単位の動きが活発になって来ることが予想されます。区単位での活動に本会が協力する場合、現在のほとんどの支部が、複数の行政区を含んでいるため色々と不都合が出てきます。福岡市も昭和47年4月に政令市に移行し、その後、歯科医師会も支部割りを区割りに合わせられています。本市もいつかはやらなければいけない事ですので、やるならば早めに取り組んで行きたいと思っております。現在の支部に思い入れの多い先生も多数いらっしゃると思いますが、そのお付き合いは個人的に残して頂きながら、会としての再編にご協力をよろしくお願い致します。

以前からの懸案である、会費の均等割り一本化に関しましては、一度説明会まで行いました。しかし、執行部の理解不足もあり、いくつかの問題点が見えてきましたので、会計の健全化の為に均等割を修正し、検討する時間を頂きました。ようやく、ある程度の骨子がまとまりましたので、6月の発送物に素案を入れさせて頂きました。ぜひ、じっくりと目を通してみて下さい。その後も会員の先生方からご意見を頂き、手直しを続けております。現在は、均等割り+収入割と言う形で会費を頂いておりますが、収入割は保険診療の部分だけにかかっているの、自費収入を含めた総収入とは違い、不平等感があります。会員の権利は平等ですので、その是正を行うためにも均等割り一本化が必要だと考えます。執行部といたしましても皆様の賛同が得られますように熟考してまいりますので、忌憚のないご意見を頂ければと思っております。秋には説明会も予定しておりますので、ぜひご参加下さい。

加えて、会費の見直しを行う中で、各先生方の現状に即した形で会費を頂くために、細かい会員種別の分けを考えております。特に親族に事業継承者がいらっしゃる先生が増えて来ましたので、第三者であっても事業を継承する場合は、親子会員と同じ扱いをして入会のメリットを享受して頂きたいと思っております（従来の親子会員の条件は血縁者）。それが、診療所や会員を維持し、歯科医師会の永続性にもつながると考えております。

その他、多くの課題も抱えておりますが、常に会員のため、市民のためになる会のあり方と運営を考えていきたいと思っておりますので、これから2年間、よろしくお願い致します。

現執行部期末の総まとめ

平成27年度 一般社団法人熊本市歯科医師会 定時総会



次期に向けての重要な総会であった

6月25日（木）19時30分より、県歯会館3階市会議室にて、一般社団法人熊本市歯科医師会定時総会が開催された。

- 1 開会 小野秀樹常務理事
- 2 議長及び副議長選出
議長 片山晃紀先生
副議長 齊藤忠継先生
- 3 議事録署名人選出
清村正弥先生
宮田正孝先生
- 4 物故会員に対する黙祷
吉良直衛先生
山内 涇先生



忌憚のないご意見をお願いします

5 会長挨拶

本日は御足下の悪い中お集り頂きまして、有り難うございます。今回は現執行部最後の総会となります。2年間に渡り会を支えて頂きました会員の皆様、執行部の皆様、本当にありがとうございました。

本日の議事と致しましては、期末ですので会計的なものがメインとなっていきます。我々執行部は、皆様の大事なお金を預かっておりますので、なるべく効率的に無駄のない予算執行を目指して参りました。実際は今期の予算の執行率が90数%ということで、顧問の会計事務所からも高い評価を頂いております。皆様に見て頂くといろいろ指摘事項等もあるかと思いますが、忌憚のない御意見を頂きたいと思っております。協議の方は会費の均等割一本化、そして会員種別変更、支部割りの再編が大きな事項になっていきます。均等割は清村執行部から宿題として頂いていました。現在は会計的に少しは潤沢になってはいるのですが、シミュレーションでは数年後にはまた厳しい状況になっていきます。その為、余裕があるうちに次の手を打っておかなければいけません。

支部割りの件ですが、政令指定都市になり現在は5区になっております。熊本市歯科医師会も区ごとの出務が増えてきますので、旧来の支

部をどうしても区に合わせないと行けない時期が来るであろうと考えています。デリケートな部分を含んだ問題ではあるのですが、どこかでやらなければいけない事ですので、皆様の御意見をうかがいながら進行しているところです。ぜひ、先生方の忌憚のない御意見を頂きたいと思います。

6 報告

- 1-1) 会務報告 高松尚史専務理事
- 1-2) 庶務報告 小野秀樹常務理事
- 1-3) 会計現況報告 古川猛士常務理事
- 1-4) 監査報告 蔵田幸一監事
- 2) 審議会報告 秋山 清議長

7 議事

- 第1号議案 平成26年度熊本市歯科医師会一般会計収入支出決算の承認を求むる件
- 第2号議案 平成26年度熊本市歯科医師会収益事業会計収入支出決算の承認を求むる件
- 第3号議案 平成26年度熊本市歯科医師弔慰金制度会計収入支出決算の承認を求むる件
- 第4号議案 市歯審議員、特別委員会委員及び顧問、国保組合会議員の選任に関する件
- 第5号議案 一般社団法人熊本市歯科医師会役員選挙

第1号議案から第4号議案まですべて可決承認された。第5号議案については候補者が定数内であったため議場内の表決で決定した。

8 協議

- 1) 均等割と会員種別変更について

(執行部)

均等割を考える第一の要因と致しまして、歯科医師会の会員としての権利はどの先生も同じということで、その点からも同じ額を納



高松専務による報告・回答

入して頂くことが望ましいと考えています。保険点数を元にした収入割りですと総収入とは違うため不平等になってしまいますし、会費収入が安定せず、予算案が立てづらくなってきます。九州8市の中で熊本市と大分市のみが収入割りを導入していますが、他市の均等割の平均は月1万円を超えています。現時点でのデータから考えますと、当面は熊本市歯科医師会では8500円の均等割を目標にしたいと考えています。

会員種別の変更に関してですが、一般社団法人熊本市歯科医師会入会金、会館費、会費賦課徴収規則(案)を立てております。それを元に、ただいま執行部で検討しているところです。

均等割と会員種別変更共に大きな課題となりますので、先生方にはご説明する機会を増やしていく考えです。これらの件は平成28年3月の総会のときにもう一度議題に挙げさせて頂き、6月の総会では議案で出させて頂こうと考えています。目標としましては、平成29年4月からの施行を目指しています。

(尾上 宏会員)

Q1) 終身会員であることのメリットは？

A1) 歯科医師国保に入れるということが一番のメリットだと思います。

長年所属していた歯科医師会と繋がりを保てるということも大きな利点ではないでしょうか。



終身会員のメリットは

2) 支部割り変更について

(執行部)

区割りと支部割りを一致させるにあたって、現状の支部の境界線を明確にしようと考えています。今現時点で明確化できているのは北部1、2、3支部、東部1支部、南部支部、西部支部、中央支部です。東部2、3、4支部及び小島支部、川尻支部のラインは現在検討中です。境界線をはっきりさせた上で、各区の中で人数を均等にするような形で新たな支部割りを作っていきたいと考えております。こちらも均等割と同じく平成29年4月の施行を目標に検討を重ねているところです。

3) その他

(宮本会長)

日曜祝日の昼間診療を会員全員で担当したいと考えています。会員の権利、義務は平等であることと、政令指定都市として行政にアピールする意味でも重要と思っております。今後もペーパー等でお知らせ、お願いをして行きたいと考えています。

(高松専務)

病診連携事業で機能病院、託麻台リハビリテーション病院に加え、江南病院が参加されることになりました。希望する先生方におかれましては、説明会に参加して頂きたいと思っています。すでに協力医として登録して頂いている先生は、同意書を1枚頂ければ登録が可能ですので、宜しくお願い致します。今まで

は市の歯科医師会事務局から先生方に電話でお願いしていましたが、県の歯科医師会に補助金ができましたので、県が担当の歯科衛生士を雇用することになりました。今後はその担当の衛生士（金子さん）から先生方にはご連絡がありますので、宜しくお願い致します。

(清村正弥会員)

フッ化物洗口事業に関して歯科医師会として対応を考えて頂きたい。

(執行部)

その件に関しては肅々と対応していきたいと考えています。

9 会長選任報告

臨時理事会が開催され、宮本格尚先生が熊本市歯科医師会会長に再任された。



寺本豊徳選管委員長による選挙結果報告



当選証書を受ける宮本格尚会長

(広報 境 大助)

会費均等割支部割り変更の協議も大詰めへ

平成27年度一般社団法人熊本市歯科医師会 審議員会



ご意見よろしくお願いします

6月18日(木)19時30分より審議員会が市歯会議室にて行われた。

1. 点呼 小野秀樹常務理事
2. 開会 小野秀樹常務理事
3. 議長及び副議長選出
議長 秋山 清先生
副議長 宮田正孝先生
4. 議事録署名人選出
北部2支部 矢毛石 豊先生
東部2支部 七川 洋二先生



全員出席の審議員

5. 物故会員に対する黙祷
西部 支部 吉良 直衛先生
平成27年2月15日 御逝去
北部2支部 山内 涇先生
平成27年4月28日 御逝去
6. 会長挨拶 宮本格尚会長

梅雨の雨の中、また、診療後のお疲れの中、全員が集まりいただきありがとうございます。今回は我々執行部の最後の審議員会となります、審議委員の先生方にはこの二年間、貴重なご意見や叱咤、激励をいただき我々執行部を支えてくださった事に対しまして心より感謝し御礼を申し上げます。本日の審議事項ですが、特に会計結果につきましては前回の審議員会では大まかな結果報告でしたが、今回は内容の良い詳細な決算が出ておりますので、これに対しご意見をいただき皆様でしっかりと審議していただきたいと思います。

また、協議に関しまして主となる議題は会費の均等割りと会員の種別変更についてです。この問題は我々が二年前に清村執行部から引き継いでいるもので、会費均等割り一本化を目指しこれまで話し合いを重ね説明会を開いてまいり



二年間支えて頂きありがとうございます

ました。その間色々な問題が浮かび上がり、歯科医院にも様々な形態があることから、それぞれの歯科医院の形態に対応できるように健闘を重ね、今回ある程度のシミュレーションをたてましたので、皆さんのご意見をいただければ幸いです。

次に協議事項としてあげていますが支部割です。これに関しまして、境界線の設定基準について未だ協議中であり答えは出ていませんが、いずれは境界線を明確に定め区割りしなければなりません。支部割りについて目標としましては平成29年4月には会費均等割りの一本化をめざしていますので、出来ることであればこれに合わせたいと考えています。

では、本日も活発なご意見をよろしく願います。

7. 報告

- 1) 会務報告 高松尚史専務理事
- 2) 庶務報告 小野秀樹常務理事
- 3) 会計現況報告 古川猛士常務理事
- 4) 監査報告 稲葉逸郎監事

8. 審議事項

- 1. 平成26年度熊本市歯科医師会一般会計収入支出決算について
 - 2. 平成26年度熊本市歯科医師会収益事業会計収入支出決算について
 - 3. 平成26年度熊本市歯科医師会慰労金制度会計収入支出決算について
- 監査報告 稲葉逸郎監事
- 一般、収益事業、慰労金制度のいずれの熊本市歯科医師会会計収入支出決算においても正しく順調に運営されていた事を報告いたします。

(会長)

補足してお伝えします。決算報告事項において、今年度は入会金収入において予算よりも多い収入を得ていますので、順調な会計結果を得ている観があります。前回の審議委員

会でもお話し致しましたが、これは入会金を一括で納めていただいている会員の先生がいりしたからです。しかし現在は若い新入会員の先生におきましては、長期分割にて入会金を納めている先生方が殆どです。従って今後は入会金を別にして円滑な会計結果を得るように入会金の均等割り一本化を目指す必要があると考えています。

- 4. 市歯審議員、特別委員会委員及び顧問、国保組合会議員の選任に関する件について
- 5. 一般社団法人熊本市歯科医師会役員選挙について

9. 協議

- 1. 均等割と会員種別変更について(執行部)

前期の執行部より継承し現在も協議を続けています会費の徴収方法ですが、今後とも熊本市歯科医師会の健全な運営を持続するために、会員の種別変更を行った上で入会金及び会館費の徴収方法変更や会費の賦課徴収法を現在の収入割り+均等割りから均等割り一本化へと進めて行こうと考えております。

○会員の種別変更に関しては以下のような形態へと予定しています。

- | | 旧 | 新 |
|---------|--------|---|
| 1) 一般会員 | | |
| | 矯正単科会員 | → 一般会員に統一
自費診療のみの会員 |
| 2) 終身会員 | → | 終身会員A：閉院している終身会員
→ 終身会員B：終身会員の
みか、もしくは勤務会員
A、Bと診療している
→ 終身会員C：一般会員が
勤務している終身会員
→ 終身会員D：非会員歯科
医師、勤務会員D、Eが
勤務している終身会員 |
| 3) 親子会員 | → | 勤務会員A：旧親子会員 |
| 4) 特別会員 | → | 特別会員 |

- 勤務会員C：旧特別会員の分院
- 5) 勤務会員 → 勤務会員D：旧勤務会員
- 勤務会員B：非血縁継承者
- 勤務会員E：理事会が勤務会員に準ずるとみなした歯科医師

以上は現在の予定でそれぞれの会員への会費徴収額については今後、更に協議を重ねた上で決めようと考えています。



高松専務による説明

(北部1 田ノ上輝審議員)

入会時に入会金と共に徴収している会館費についてですが、会館費という名目で会員から徴収しているのであれば、あくまでも会館費として使用するべきで、それ以外の事業費に使用したりする事はおかしいのではないですか。また、会館は熊本県歯科医師会の所有となっていると思いますが、いかがでしょうか。



会館費について質問します

(執行部)

この建物は熊本県歯科医師会の会館となっておりますが、3階フロアと1階の事務局に関しては熊本市歯科医師会の所有となっており、この領域における修繕費や維持費に関しては熊本市歯科医師会が負担していかなければなりません。

また、入会時の徴収費用を入会金という単一の名目だけでなく、会館費と併設していますのは、他の会員（親子会員など）の入会金の減額料を入会費と会館費と分ける事で調整し易くなり、惹いては新しい会員を獲得する為にも有用であると考え会館費として設定しています。

2. 支部割り変更について

(執行部)

これに対しては各支部の先生方から支部割りと区割りを早急に確立してほしいと要望もありましたので、出来るだけ早く区割りできるよう進めています。そこで、まずは現支部の境界線を明確に確定する必要があります。

現在、北部1、2、3支部においては境界線がほぼ確定しています、また中央支部、東部1支部、西部支部、南部支部においては現在、精査中です。

小島支部と川尻支部に関しては比較的容易に境界線が設定できる環境にあると思われますが、東部2、3、4支部においては明確な境界線の設定が他支部にくらべ、やや難しい感じがします。この様な中、区割りが施行されるのは平成29年の総会後からを予定しています。

3. その他

(宮本会長)

今、執行部で色々な事を見直しており改正案が出ておりますが、その内の一つに委員会の仕事を合理的及び効率的に進めるために委員会の合併を考えております。合併を予定している委員会は次の1) 地域保健委員会と学校歯科委員会、2) 厚生委員会と臨時委員会である在宅医療検討委員会です。

次に私からのお願いという形なんですが、現在、熊本市歯科医師会会員全員で順番で受け持っている休日夜間診療当番医と志願登録制で約70名の会員の先生方で受け持っている日曜祝日昼間診療当番医があります。今後は公益性も考えまして、日曜祝日昼間診療当番医に関しても、会員全員で担当していければと考えています。又、この様な活動を積極的に行う事により今後、我々が市民や行政に対して言葉を発しやすくなるのではないかと期待しています。

(執行部)

病診連携というものをやっております。機能病院と託麻台リハビリテーション病院に入所されている患者さんへの往診を熊本県歯科医師会と熊本市歯科医師会とで共同で行って

いる事業ですが、熊本市に存在する病院なので熊本市歯科医師会の会員が主に担当しています。今回これに江南病院が新しく連携病院として加わりましたので、近く江南病院の説明会を開こうと計画しています。

今まではこの病診連携の連絡窓口及び事務処理を熊本市歯科医師会事務局が請け負っていましたが、この度、熊本県歯科医師会に熊本県からの在宅支援に対する補助金が認められ在宅支援室が設定され専任の衛生士が雇用されましたので、これからは熊本県歯科医師会が病診連携の窓口となります。

10. 閉会 田中弥興副会長

(広報 濱坂 上)



新しい執行部を紹介します



新執行部です。よろしくお願いします



田中弥興 副会長

2期目宮本執行部の副会長を再度拝命いたしました田中弥興です。

1期目2年間、早いもので何かお役にたてたのか自問自答をしているところです。

今期は、会費徴収方法改訂や小学校フッ化物洗口普及事業という2つの大きな課題の達成に向け、準備は整いました。この達成に向けて、また歯と口腔の健康条例の制定、政令都市歯科医師会役員連絡協議会参加、支部会の区割りに合せて改編、超高齢化社会に向けての在宅・病診連携への取り組みなど、対外的、対内的にも山積する課題を皆様のご意見を頂きながら執行部の一員として微力ながら取り組んで参りますのでよろしくお願いいたします。



渡辺猛士 副会長

この7月からの執行部にて2期目の副会長に就任しました渡辺猛士です。今期本会に於いては新しい区割りに合わせた支部割りの制定、会費の均等割り一本化、会員種別の見直し、歯科保健推進条例の制定、学校フッ素洗口の実施事業化などなど大きな課題を抱えておりますが、多角的視点から会務運営に協力し、会長をサポートしていく所存であります。こと対外的には熊本市長が刷新され、これまで難航しておりました条例制定、フッ化物洗口事業の実施に向けてこれを追い風として進めて行きたいと考えております。また、マイナンバー制度の導入をはじめとした我々を取り巻く新しい流れについては常に目を光らせ、会員の皆様の確かな情報源となるよう努力して行きたいと考えております。これから2年間何卒よろしくお願いいたします。



高松尚史 専務理事

専務理事を拝命して、2年がたち、今回再び、重職を担うことになりました。今まで以上に、気を引き締めて会務運営を進めていきたいと思います。思えば、新しい執行部として、様々なことを実行してきました。対外的には、熊本市口腔保健条例案の提出、フッ化物洗口モデル事業の検証と本格展開への調整など、行政との連携を今まで以上に深く築いてきました。また、対内的にも、均等割り額の変更、常務会・理事会のペーパーレス化、予算検討に対して各委員会との折衝、歯科医師会HP・歯科医師会案内のリニューアル、往診用ポータブルユニットの拡充など、その時の状況に応じて変革を進めてきました。これからも、歯科医師会は、変革を進めながら、口腔衛生を担う歯科医師の集まりとして、対外的に職務を全うしながら、継続的に活動できる会務運営を行うために、経営革新を進めていかなければいけません。これからも、本会活動にご指導・ご意見をよろしくお願い致します。



古川猛士 常務理事

2期目の宮本会長の下、引き続き会計担当常務として拝命しました。

今期は前期からの持越しとして、会費の一本化、それに伴う会員種別の改定。そして行政単位と齟齬をきたさないように支部割の再編などが継続課題としてあります。

大筋のところはほぼまとまってきました。秋には会員の皆さんへ説明会を予定していますので、そこでご意見をいただければ、と思います。

細かい作業はすべて高松専務が行っていますので、会計担当として心苦しいところはありますが、実は大いに心強く助けてもらっています。

歴代の会計担当の中で「最も数字に弱いやつ」といわれないよう、何とか頑張ります。



小野秀樹 常務理事

2期目となる宮本執行部、庶務担当常務を引き続き拝命することになりました。熊本市は政令指定都市移行後5年経ちますが、まだまだ過渡期で、本会も対内、対外的に様々な対応に迫られています。庶務担当なので対内的な仕事になります。これから2年間、微力ではありますが宮本執行部を下支えするべく会務に努めてまいりたいと思います。よろしくお願いいたします。



温 永智 広報理事

今期も広報委員会を担当する、温 永智です。

理事2期目を迎えることになりましたが、前期は単なる記録だけの委員会になっていないか、果たして有益な情報を皆様方に提供できたのか、また投稿者の為だけの広報になっていないかなどを検証しながら、改善すべきところは改善して今期の理事職を務めていきたいと思っています。できるだけ一方通行の広報委員会ではなく、市歯会と会員の双方から情報を得て発信するような委員会にしたいと思っていますので、ご協力よろしくお願いいたします。



渡辺 洋 社会保険理事

2期目の執行部において社会保険理事を引き続き担当いたします、渡辺洋です。
これまでの委員会活動は個別指導の準備等にウェートを置く形になっていましたが、これに加え新たに審査に出務する委員が加わったことで審査返戻等への対応もより幅広く行えるようになりました。請求と返戻は毎月頭を痛めることが多いようですがお役にたてればと考えております。又、正しい請求と正当な報酬を得ることを主眼において活動したいと考えております。歯科界の潮流が訪問診療や、介護保険へと向かう傾向があるようです。高齢者から超高齢者世代への歯科の対応も市県民から望まれてくることは必至です。幅広い対応をとれるようより一層活動したいと考えています。



井手裕二
地域学校歯科保健理事
(学校歯科担当)

今回から地域歯科保健委員会と合併して地域学校歯科保健委員会となり、理事を含めて12名の大所帯となります。

以前より、地域歯科保健委員会とは、「健康フェスティバル」等に協力してきましたので、今後、「歯磨き巡回指導」や「企業健診」等と一緒に活動していきたいと思っております。

熊本県は「熊本県歯及び口腔の健康づくり推進条例」を施行しました。政令指定都市となった熊本市でも同じような条例をお願いしたいと思っております。

このことより歯磨き、フッ化物洗口などの予防について支援を行わなければならないと思っております。

「熊本市子ども医療費助成制度」(ひまわりカード)が小学校3年生まで対象年齢が拡大するように各関係機関に働きかけたいと思っております。

まずは、10月3日(土)、4日(日)市総合体育館で開催される「健康フェスティバル」を無事に終了することと思っております。



井野 健
地域学校歯科保健理事
(地域保健担当)

今期で2期目の担当理事を務めさせていただきます井野 健と申します。平成15年から旧地域保健委員会で活動させていただいております。今回、学校歯科委員会と合併し協力して参ります。歯の祭典、歯磨き巡回指導、事業所歯科健診、健康フェスティバル、20歳の健診等事業は盛りだくさんではありますが、執行部の協力を得ながら活動してまいりたいと思っております。会員皆様の会費で運営している歯科医師会です。無駄を省き、効率良い事業運営を心がけ活動していきたいと思っております。ご指導の程よろしく願います。



大塚昭彦 学術理事

今期、2期目の学術委員会理事を担当させて頂くことになりました大塚です。

この2年間、右も左もわからない状態で会務を行い、また、課題の多さに戸惑いながらも何とか与えられた役目を果たせたかと思います。前期は、長年の懸案であった「改訂 チェアサイドの有病者歯科治療ガイドブック」の発刊を行うことができました。チェアサイドでも簡単に確認ができ、“かゆいところに手が届く”ことをコンセプトとして編集しました。まだまだ不十分な点は多々あると思いますが、是非、日常臨床にお役立て頂ければと思います。

さて、学術委員会では、年間3回の学術講演会を行うことを基本としています。会員の皆様に対して有益な情報を発信するべく日頃より努力しておりますが、臨床での疑問点や、この先生の話が聞いてみたい等のご要望は常時受け付けております。なるべく会員の皆様の意見を取り入れて魅力ある講演会の企画、学術的情報の発信を行っていきたいと思います。

一方、今期より一般市民の方々対象の講演や、糖尿病と歯周病の関連について、医科の先生方への講演を担当する機会も与えられました。熊本市歯科医師会の名を汚さぬよう努力し、この活動が会員の皆様の利益に貢献できれば、と考えております。

今期はこの2年の経験を活かし、さらにパワーアップして会務に携わっていきたいと思いますので、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



有働秀一 医療管理理事
(医療相談担当)

医療管理

医療管理の仕事を始めて、はや2年が経過しました。委員会の先生方の協力で無事遂行することができたと感謝しております。2期目に入り委員会もメンバーはそのままです。仕事は例年通りと考えています。今年から医療安全協議会に出務することが決まり、そこで他の医療従事者との意見交換で得た情報を会員に提供していきたいと考えています。また医歯連携セミナーをはじめ各種講演会もこれまで参加者が少ない印象を受けます。多くの先生方に出席して頂けるような企画を考えていきたいと思いますのでぜひのご参加をお待ちしております。医療管理に係る内容で少しでも気に係ることがあればご連絡頂ければ、またご指導いただければと思います。

今期も医療管理委員会を宜しくお願い致します。

医療相談

新執行部になり医療相談委員会も2期目に入ります。

大変お世話になりました先生方と同じメンバー5名で今期も活動します。

1期目は様々な相談に委員の先生方にお尋ねを立てながら乗り切ってきました。

今期も相談に対しては常に真摯に対応する準備をしておき、ドクター側にも患者側にも不利益とならない対応を心がけていきます。

委員会活動は相談内容の検討、検証が主な活動ですが、必要がある場合は会員の先生方に対して講演会などの実施も今後考えていきたいと思っています。

これから2年間、医療相談委員会を宜しくお願い致します。



嶋田英敏 厚生理事

今期より厚生委員会を担当することになりました、嶋田英敏です。

高齢化社会を迎え世間が変化していく中、市歯科医師会もまた変化せざるを得ないようです。昔のように社会全体に勢いがあり、歯科界も資金潤沢な時代であれば様々なサービスが可能ですが、今後は厚生サービスも充分吟味、選別していく事が必要となるでしょう。

その様な情勢を踏まえ、在宅訪問委員会が厚生委員会に統合される事になりました。また現在、歯科医の60%以上が50歳を超えており、緊急時の代診派遣制度利用が増える可能性を考慮して制度の改善、充実を検討しております。とくに派遣元になる協力医院の負担も小さくないだけに利用者サイドにもシステムを周知していただく必要性を痛感しています。

その他にも国家試験の合格者の40%が女性である現在、市歯科医師会もこの変化と無縁ではいられ無いと思います。厚生委員会が担当する親睦会も女性会員が参加しやすい環境を整える様にしていきたいと考えています。



稲葉逸郎 監事

今期、二期目の監事を拝命致しました稲葉です。

長年理事を担当してきて改めて監事目で見えてくると会務執行の大変さ、忙しさ、各委員会のご苦労を感じます。今までの経験をもとに、無駄のない会務と、活発な委員会の活動が行える様にこれからの二年間見守っていきたいと思っています。会員の皆様のご協力よろしくお願いいたします。



蔵田幸一 監事

この度、2期目の監事を務めることになりました蔵田です。宮本執行部を前期から見えていますが、いろんな事業に取り組んでいます。前清村執行部から検討していた会費の一本化。特に終身会員の先生の会費については就業実態に応じた対応の仕方を考えています。29年度からは実行に移せる予定です。

また、政令指定都市だけの役員連絡協議会へも、今年度から正式に参加することになりました。熊本市は他の政令指定都市に比べると最も規模の小さい市ですが、九州八市役員連絡協議会と違っていろんな意味で役に立つこと、吸収できることがあるのではないかと期待しています。

また、行政区に対応した支部割の検討も進んでいます。これも近々実現するのではと思っています。その他いろいろ取り組んでいますが、監事としてこの執行部を見守っていく所存です。よろしくお願いいたします。

理事退任あいさつ 瀬井 知己



平成8年4月に厚生委員会に配属され、山村定信先生、斉藤修身先生、中川順一先生の歴代理事にお仕えし、平成23年からの4年間は理事として微力を尽くして参りました。先生方をご存知のように熊本市歯科医師会は、財政的には厳しい運営を迫られております。とりわけ厚生委員会の企画運営するビアパーティー、新年パーティーには多大な経費が掛かります。切り詰めた予算内で、会員の先生方にご満足いただけるよう厚生委員会全員で努力してきたつもりですが、反省すべき点ばかりで申し訳なく思っております。

また急病時の代診派遣制度に関して、伊東隆利、隆三先生をはじめ伊東歯科口腔病院のスタッフの方々、前田明浩先生をはじめとする熊本パール総合歯科クリニックのスタッフの方々、そして矢毛石豊先生には、大変お世話になりました。いつも急で無理なお願いにも拘らず、困っている会員のためならばと快くお引き受けいただき誠に有難うございました。この場を借りて御礼申し上げます。

この7月からは嶋田英敏先生が理事に就任し、フレッシュな厚生委員会がスタートしております。新しい厚生委員会のことをよろしくお願いいたしまして、私の退任のご挨拶とさせていただきます。

24時間救急患者を断らないことをモットーに

平成27年度第1回国立病院機構熊本医療センター・熊本市歯科医師会連絡協議会



24時間急患を断りません

平成27年度第1回国立病院機構熊本医療センター・熊本市歯科医師会連絡協議会が7月13日(月)19時より、熊本市歯科医師会会議室にて開かれました。出席者は熊本医療センターから、院長の河野文夫先生、副院長の高橋毅先生・統括診療部長の清川哲志先生、歯科口腔外科部長の中島健先生と救急救命科医長の原田正公先生でした。熊本市歯科医師会からは宮本格尚会長、渡辺猛士副会長、高松尚史専務理事、有働秀一医療管理理事と私高橋禎同委員長でした。



これからも連携を深めていきたい

まず、宮本会長が挨拶され、これからも歯科医師会は熊本医療センターと積極的に協力していきたいと述べられました。次に、河野文夫院長が挨拶され、歯科医師会のおかげで歯科と医療センターとの連携がうまく取れていることを話されました。厚労省の地域医療構想により病

床削減が言われる中、熊本医療センターは急性期医療、地域医療の一翼を担うという考えは変わらないと話されました。現在、医療センターの口腔外科は常勤が2名で、またスタッフも多くなり、より良い体制になってきました。嚥下障害のリハビリや癌連携の取り組みも充実していると述べられました。そして、これからは医療センターは24時間365日救急を断らないことをモットーに努力していくと述べられました。

そして、協議に入り、医療センターの先生方からの説明がありました。内容は、以下のとおりです。

1. 歯科紹介率について

平成26年度の歯科紹介患者数は932人と前年度(872人)と比べるとかなり増加していました。平成27年度も4月から6月までですが例年より増加しています。また、平成26年度の歯科紹介率は39.6%で前年度(34.6%)より増加しました。また、今年度は5月に44.2%の紹介率がありました。医科・歯科合計紹介率も今年度は82%を超えました。平成26年度の歯科地域医療支援病院紹介率は39.3%と前年より約6%増加しました。今年度も同様の傾向にあります。

2. 歯科救急医療について

利用状況について平成25年は、209件と昨年より少し増加しました。今年も6月までで113件あり、昨年より多いペースになっています。内容は、外傷では多い順から歯牙破折・口唇裂傷・下顎骨骨折・歯牙脱臼・義歯誤飲・打撲などでした。一般では歯周炎・歯痛・蜂窩織炎・抜歯後出血・顎関節脱臼・顎関節症・骨膜炎などでした。この半年では歯科一般よりは交通事故による外傷が多い傾向にありました。最近では自転車による交通事故が増えているそうです。また、入院予定の方が日曜日に搬送されてくるケースもありました。

3. 歯科医師研修について

毎年好評で参加者の多い救急蘇生法講習会は、今年度も11月12日（木）19時30分より麻酔科の先生にお願いして例年通り開催される予定です。摂食嚥下特別講習会が5月9日（土）に玉名地域保険医療センター医師前田圭介先生を講師にお招きして行われました。第69回医歯連携セミナーは6月26日に行われました。第67回は8月20日（木）に熊本大学歯科口腔外科学教授の中山秀樹先生が「熊本大学歯科口腔外科との連携」のテーマで行われる予定です。第68回は平成28年2月17日（木）に国立病院機構菊池病院の木

村武実先生が「認知症の最新治療」のテーマで行われる予定です。熊本摂食嚥下リハビリテーション研究会は、今年度は、9、10、11月と1月に行われる予定です。

4. 開放型病院連絡会について

平成27年度第1回開放型病院連絡会が9月14日（月）19時より、ホテル日航熊本（5F阿蘇の間）にて開催する予定です。今回も症例呈示と地域連携医療室からのお知らせ、意見交換会があります。症例呈示では血液内科の臍帯血輸血、腫瘍内科について、泌尿器科の最新の結石治療があるそうです。

5. その他

熊本医療センター歯科口腔外科と耳鼻科との連携手術は、現在、30例あまり行われているそうです。また摂食嚥下リハビリテーションへの介入状況は毎月50例程度あり、収受付き口腔機能管理で年間約250名の内150名程度県内の歯科医院と連携しているそうです。

最後に渡辺副会長から医歯連携セミナーも参加者が増え、医療センターの先生方に大変お世話になっており、これからも連携を深めていきたいと述べられて閉会となりました。

（医療管理 高橋 禎）



在宅医療の実際

～かかりつけ医が取り組む在宅医療～ 医療連携セミナー

6月26日（木）20時より、国立病院機構熊本医療センター2Fの地域医療研修センターにおいて第69回医歯連携セミナーが開催された。最初に熊本市歯科医師会宮本格尚会長の挨拶の後、座長の有働秀一医療管理委員会理事より講師紹介が行われ「在宅医療の実際」という演題で熊本在宅ドクターネット、田島医院院長田島和周事務局長の講演が行われた。



父親の姿を見てこの仕事を

まず高齢者の死亡場所の推移として1950年代は80%が自宅で亡くなっていたが、2010年には80%が病院で亡くなっている事。少子高齢化問題としては、65歳以上が人口の30%を占め、労働人口の減少が顕著である事。認知症高齢者が平成10年の280万人から平成25年の470万人へ増加、高齢者世帯、特に一人暮らしの方も増加しており、当然死亡者数も平成14年の125万人から平成25年の160万人と増加している。

その反面、現在25年政府目標として、病床数を最大20万削減し30万人を自宅療養とする病床機能報告制度と地域医療構想が打ち出されている。これは病床が多すぎると不必要な入院が増え、医療費が膨らむ要因になるため将来の需要を満たす病床数を割り出したものである。

在宅医療とは、入院や外来で行う医療を患者宅で行うことではなく、病気や障害があっても

生活を支え見守る医療である。つまり、生活を見るCareである。往診は患者さんの要請により、訪問診療が計画的・定期的に行われる。入院（病院）は、集中的に病気を治療する医療である。つまり病気をみるCureである。

ところで皆さんは考えたことがありますか？

- ・あなたは、どこで、だれと人生最期の大切な時間を過ごしますか？
- ・病気療養や死が近づいた時の事を、家族や医師と話した事がありますか？

熊本市でのアンケート結果です。

- ・自分が治る見込みがなく寝たきり等で長期の療養が必要になった時、どこで療養しますか？
 - A 今まで通った病院に入院したい 9%
 - B 療養専門の病院に入院したい 26.3%
 - C 老人ホーム等の施設に入所したい 8.7%
 - D 必要に応じて入院しながら自宅を中心に療養したい 34.6%
 - E 訪問診療や介護サービスを受けながら住み慣れた自宅で家族と過ごしたい 18.6%
 - F 無回答 2.1%



人生最後の時を迎えるために

- ・自宅での療養に対する不安の理由は何ですか？
（前問で自宅以外を選択した方に質問）
- A 往診してくれる医師がいない 6.8%
- B 24時間いつでも来てくれるところがない 7.9%
- C 病状が悪くなった時にすぐ入院できない 13.8%
- D 介護してくれる家族がいない 14.1%
- E 介護してくれる家族はいるが負担がかかる 41.7%
- F 居住空間が整っていない 13.3%

熊本における在宅死亡率は全国平均より低い。患者・家族が自宅へ帰れない理由として「家で何かあったらどうしよう？」という不安な気持ちがある為である。その不安が解消されれば、最期は自宅で家族と過ごしたいという願いを叶えることができるが、なにが起こるか、その時どうするかを事前に対策を立てておく必要性や、介護者が疲れないようヘルパーの導入、レスパイトケア入院の準備、必要時の入院先の約束、疼痛時・発熱時の薬の指示、24時間相談できる連絡網の整備などが挙げられる。

熊本県において開業医を中心とした在宅療養を支える医療ネットワーク～熊本在宅ネットワーク～が在宅医療推進のために作られ、現在89名の会員が在籍しているが、24時間365日対応という負担を軽減することや、1人の患者さんに複数の医師がかかわるグループ診療ネットワークが必要であることに加え今後、多職種連携も必須である。

熊本市の人口10万人あたりの病床数は政令指定都市中1位、医師数2位、専任救急隊数2位と、恵まれた環境にあるが、在宅医療は市町村が主体となり、群市区医師会等と連携しつつ取り組んでいる。

地域包括ケアシステムは、団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても人生の最後まで住み慣れた地域で自分らしい暮らしができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供されるシ



在宅診療の素晴らしさに聞き入る

ステムの構築を実現していく。保険者である市町村や都道府県は自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていくことが必要であり、退院支援・急変時の対応・日常の療養支援・看取りが連携することが重要である。厚労省保険局長の唐澤氏は、地域包括ケアシステムを必ず作らなければならないと強調する理由として「死亡者数の増加」「外来患者数の減少」「フリーアクセス」を挙げている。

最後に、在宅診療を受けた方の「人に気兼ねせずにすむ・晩酌ができた・子供や孫と一緒に食事ができた」など良かったことを述べて締めくくられた。在宅診療は病気や障害があっても年を重ねても生活を支え、見守り、寄り添う素晴らしい医療である事を実感できた貴重な時間であった。



藤波好文会員が質問

（医療管理 町田宗一郎）

日常歯科診療で知っておくべき疾患や症状について

－症例提示と検討－

～平成27年度 熊本市歯科医師会第1回学術講演会～

国立病院機構熊本医療センター歯科口腔外科部長 中島 健 先生



稀だが危険な疾患もあります

7月4日（土）15時から、熊本県歯科医師会館3階市会議室にて、平成27年度 熊本市歯科医師会第1回学術講演会が開催された。

国立病院機構熊本医療センター歯科口腔外科部長、中島健先生を講師にお招きし、『日常歯科診療で知っておくべき疾患や症状について－症例提示と検討－』と題して、講演が行われた。宮本格尚会長の開会の辞に続き講演が始まった。

最初に中島健先生が国立病院機構熊本医療センターに赴任されてからの6年間の様子を、最近の口腔外科の動向を踏まえて、以下のようなお話から始まった。

- (1) 高齢化社会化
- (2) 口腔外科疾患の増加
- (3) 摂食嚥下障害への参入
- (4) 医科歯科連携（糖尿、産科、整形外科、癌連携など）
- (5) 口腔外科のニーズの増加
- (6) チーム医療への参加

そして、我々歯科医師は日常の歯科診療の中で、様々な患者の訴えを診ていく。そこでは、一見どこも悪くなさそうであるが、痛みや違和感などの症状を訴えられるケースや、治療して

もなかなか改善しないといったことをよく経験する。今回の講演では、そのような「治療方針を誤りやすい、比較的遭遇しやすい疾患について」口腔外科の視点から多くの症例を提示され、診断、治療法など丁寧に詳しく解説された。

また同時に「あまり遭遇しないが危険な疾患について」もお話された。

【治療方針を誤りやすい、
比較的遭遇しやすい疾患について】
《開口障害を発症する疾患》

顎関節症

〔病態分類（2013）〕

- （Ⅰ型）咀嚼筋痛障害 関連痛 トリガーポイント
- （Ⅱ型）顎関節痛障害
- （Ⅲ型）顎関節円板障害 a 複位型 b 非複位型
- （Ⅳ型）変形性顎関節症

（現在、以前のⅤ型、心因性は入っていない）

〔原因〕顎関節症は多因子疾患であり、積み木モデルとして考える。

積み木モデル

関節構造の脆弱性、不良な咬合状態、夜間の歯ぎしり、TCH、ストレスなどの因子の合計の高さが、患者の総合的耐久力を超えると、顎関節症が発症するという考え方。患者の総合的耐久力の範囲内にそれぞれ因子の合計が収まるように、この積み木の高さをコントロールしなければならない。

〔診査〕

- ①問診 開口障害、疼痛の既往
ストレス、運動、楽器、姿勢、癖、TCHが無いかの問診
- ②視診 舌や頬粘膜の歯痕、咬耗
- ③触診 咀嚼筋の触診 側頭筋 咬筋 顎

関節 顎二腹筋（後筋）

乳様突起～胸鎖乳突筋

④画像診断 MRI、CT、4分割顎関節断層撮影、パノラマ

TCH

Tooth Contacting Habit（上下歯列接触癖）
上下の歯がくいしばりのような強い力でなくても、常に接触していることで、顎関節の発症、維持、永続化の因子となる

TCHの是正3つのポイント

口唇 常に閉じておく

歯 接触させない（1～3mm程度離しておく）

舌 上顎の粘膜に当てる
顎関節症の多くの症例において、このTCHの関与が疑われ、TCHの改善により積木の高さを低くすることで、顎関節の改善に有効となる。

智歯周囲炎を疑われる開口障害を主訴とする症例でも、術前に咀嚼筋の触診はした方がよい。

咬筋の圧痛などある場合、智歯を抜歯しても主訴の改善が図られない事がある。その場合、咬筋の圧痛を取り除いてから抜歯をするべきである。

顎関節症だけでなく、顎頭の変形を認める症例などでは、膝などの関節の痛みの有無を聞き、リュウマチに罹患していれば、顎関節だけではなく、リュウマチの治療が必要になる。

茎状突起過長症（Eagle症候群）

茎状突起の平均長は日本人で20mm前後である突起の近傍にある舌咽神経、頸動脈が圧迫される

耳症状（耳鳴り、耳閉感、放散性耳痛）

咽頭症状（咽頭痛、嚥下痛、異物感）

頸部、顔面症状（顔面痛、肩こり、頸部圧痛）

その他（頭痛、不安感）

治療法 薬物療法や外科的切除療法が行われる



明日からの臨床の為に

咀嚼筋腱・腱膜過形成

開口障害を呈する重要な疾患である。

咬筋、側頭筋の腱および腱膜が過形成することにより筋の進展を制限し、開口障害をきたす

診断 ①開口障害（開口時疼痛なし）20mm程度

②下顎角部が発達し、エラの張った顔が特徴

③口腔内で下顎枝前縁より咬筋前縁が張り出している

④手術をしないと改善しない

⑤MRIにて確定診断をする

両側咬筋前縁と筋突起に付着する腱様の低信号領域を認める

顎関節脱臼

咬まれないように両手の親指にガーゼを巻いて、下げて回転して入れる

整復後、1ヶ月弾性包帯で固定（スイミングキャップの応用）

不随意運動（錐体外路系の機能異常）などにより脱臼を繰り返す場合、非観血処置で経過をみるか、制御できない場合は両側顎関節部に自己血流注入

3回してダメなら手術を検討する（関節結節切除術）

陳旧性になると手術が困難になっていくため、出来るだけ早期に対処した方が望ましい場合もある。

《神経系病変》

電撃用疼痛が特徴的な三叉神経痛において、1割は脳腫瘍が原因である。そのため、MRI検査が重要で、脳神経科との連携が必要となる。

一口に開口障害といっても、

顎関節症

智歯周囲炎

関節リウマチ

顎関節腫瘍（上顎・翼口蓋窩）

悪性腫瘍

咀嚼筋腱・腱膜過形成

など原因となり得るので、それらを考慮した上で鑑別診断が必要となることがある。

《皮膚疾患》

外歯瘻 口腔内の菌性化膿性病巣と顔面皮膚との間に形成された交通路を外歯瘻といい（内歯瘻は病巣と口腔粘膜の間の交通路）、それぞれ原因の除去をしないと治癒しない



二つお尋ねします

《血腫と血管腫》

血 腫 出血によって組織内に血液貯留が形成された状態である。口腔内では自然に治癒する（通常経過観察）

血管腫 血管に似た細胞が増殖している良性の腫瘍

手術により切除することもあるが、患者が希望しない場合は経過観察が多い

《出血傾向》

出血斑 口腔内や顔面領域に出血斑を認める

場合、血小板異常をきたす疾患を考慮し、手、足など他の部位の観察も必要である。

血小板異常をきたす疾患

（一般開業医レベルでの治療は困難である）

出血傾向を認める疾患

①血小板破壊の亢進 突発性減少性紫斑病（ITP）

②骨髄での血小板産生低下 白血病、癌、再生不良性貧血、CRT

③血小板が消費されて少なくなる 播種性血管内凝固症候群 DIC

抗血栓療法患者の抜歯に関するガイドライン 2015年版では内服薬継続のまま治療することを推奨している

ワーファリン服用中でINR2.12までは抜歯可能であるが、埋伏歯などでは、ワーファリンをヘパリン（点滴）に変えて 手術を行う（ヘパリン橋渡し療法）

《救急止血法》

一般的には、まずは局所麻酔を行い、圧迫してバックをする

また、抜歯窩搔爬後、創部の周囲にガーゼを縫い込む形で、患部を圧迫する止血法もある（タイオーバー）

《感染症》

壊死性筋膜炎 あまり遭遇しないが危険な疾患 頭頸部において、皮下組織内のガス像を認めるガス壊疽に類似しており、皮下脂肪組織と固有筋膜の間に存在する浅筋膜を炎症の場とし、急速に広範な皮下組織の壊死をきたす壊死性病変。

治療では 1 気道確保

2 下降性壊死性縦隔炎を防止

3 可能な限り早期に切開排膿を行う

4 敗血症治療を行う

などの早急な対処が必要であることを理解しておかなければならない。

〔予防〕感染症の予防として我々歯科医師が出来ることは、

抗生剤の適応使用

- 1 早期に投与
- 2 適切な量を投与
- 3 短期間の投与
- 4 抗菌薬の種類の選択

口腔内はグラム陽性菌（連鎖球菌）が多いため、抜歯後の予防的投与はペニシリン系でよいのではないかと。出来るだけ耐性を持たせないようにするため、原因菌に対する抗生剤の選択に注意する。

また、院内感染を防止するために、手洗い、マスク、グローブ、ディスポ、ユニットにサラップ、ビニールを被せるなどの工夫をすることで感染防止を行っている。

《嚢泡》

鼻口蓋嚢胞 意外と多い嚢胞であり、デンタルやパノラマでは分かりにくいことが多いがCTではよく分かる

鼻口蓋管由来の非菌原性腫瘍

男性に多く、30～50代に好発

顎骨嚢胞の約2～4%

治療は口腔内からの摘出、一時閉鎖

《炎症 腫瘍》

悪性リンパ腫 リンパ系の組織から発生する腫瘍

SCC（扁平上皮癌）口腔内の癌の大部分を占め、扁平上皮細胞から発生した腫瘍

《口唇や舌の腫脹を発症する疾患》

血管性浮腫

突発性浮腫を呈する疾患として

①アレルギー性 ②遺伝性 ③後天性

④ACE阻害性 ⑤物理的刺激

⑥好酸球性 ⑦突発性血管浮腫など様々あるが特に注意しなければならない浮腫に〔HAE〕クインケ浮腫があり、舌や喉頭部

に浮腫が起これば、気道閉塞による死亡を招く恐れがある

（放置した場合の死亡率30～56%）

口唇の腫脹 口唇炎 違和感（チカチカする）など、食品添加物が疑われる場合もある→嗜好品などの問診も重要

《粘膜疾患》

扁平苔癬 慢性の角化異常を伴う病変

白斑型 びらん型

治療は基本的に口腔清掃とステロイドの使用。化学物質、カンジダウイルス、薬物、ステロイドの影響を受けやすい。ステロイドの使い過ぎはカンジダを発症しやすいので、メリハリのある使い方が大事である。

白斑症 白い角化性の病変で、こすっても剥離しない。癌化する可能性が高い

好発部位は 舌（10.6%）＞歯肉（1.0%） 舌＞口底＞頬粘膜

そのため舌は特に注意が必要である。

舌において癌化や前癌病変化している場合、ヨードにより染色されない。

染色されない部位は切除が必要である。歯肉部の場合は、注意深く経過観察とする場合が多い

《口内炎》

難治性の口内炎

関節リウマチの治療薬による口内炎

《口腔カンジダ症》

口腔内常在菌のカンジダ菌により発症する日和見感染症で発症を繰り返す 周術期は特に注意が必要 抗真菌薬のファンギゾンシロップな

どを投与する

《ガン種》

舌下腺からの唾液漏出症

炎症を惹起させ、その治癒機転で漏出を止める

- ①微小開窓法②OK-432の反復注入法
(開窓法の場合再発率50%) 摘出
- ③外科的開窓法 (開窓法の場合再発率50%)
・摘出術
- ④根本治療は舌下腺摘出 (再発率2%)
放置して治ることもあるが、経過観察は基本的にはよくない

《粘液嚢胞》

微小開窓法 (3-0の絹糸で、数回縫合するだけ 保険点数はない)

《BRONJ顎骨壊死》

BP関連顎骨壊死 (BP製剤によるもの)

↓現在は原因薬剤が増えた為

BMA (骨代謝調整剤) 関連

顎骨壊死 (BP製剤やデノスマブ)

- ①予防が第一 BMA投与患者の口腔管理
- ②BRONJ (顎骨壊死) 患者を診たら保存的治療→最低でも週に1回は洗浄

③病院歯科、大学病院を紹介して、画像診査と全身状態の精査→定期的経過観察

④自覚症状・感染状態が続く→外科治療を考慮

医科との連携が重要となる

以上の広範囲にわたる疾患を、多くの写真を元に丁寧に解説された。一見、心身症？と診断したくなるような症例でも、見落としていることがたくさんあるのではないかと日頃の診断の甘さを反省するいい機会となった。また、複雑で難しい症例も多く、同意書の必要性もお話しされた。このように、明日からの臨床に生かせる大変有意義な講演会であった。



大塚理事 (右) より感謝状

(学術 清水 幹広)

～ ショートコラム ～

「チェアー」

患者さんが必ず座るもの。

先生やスタッフは、めったに座らないもの。

デンタル・チェアー。

たまには先生やスタッフも座ってみてはいかがでしょう。

「埃があるなー。蛍光灯暗いなー。ポスター破れてるなー。」

患者さんの目線で、色々なものが見えてきますよ。

そんな訳でいつも私は、お昼寝のとき毎日チェックしています。

「世間話」

うちでは、とにかく患者さんとよく話さないといつも指導しています。

口下手なら、患者さんから話をよく聴き出さないと言っています。

ですから、すぐ治療に入れなかったり、終わったのにその場を離れなかったり。

だからアPOINTは時間に余裕をもって管理しています。

でも、こんなことが人と人との信頼を築いてゆくのではないのでしょうか。

あくせくチェアーを飛び回って働くより、常に心に余裕を持って

仕事に臨むほうが健康的ではないのでしょうか。

「歯ざしり」

最近、来院される患者さんの歯がとても気になります。

咬耗、摩耗、WSD、脱離、破折、亀裂…

皆さん、ストレスに耐えて生きてるんですね。

子供たちにも多いのが、特に気になります。

スマホもコンビニも無かった、昭和の時代が懐かしいこの頃です。

(K. A.)



ブックベアーによるオープニング



皆様のご協力に感謝します



何でも相談コーナー



最優秀賞者の記念撮影

「送りたい 未来の 2015歯の祭典～平成27

毎年恒例となっている「2015歯の祭典」が6月7日（日）、ウェルパルクまもとで開催されました。6月2日に梅雨入り宣言が出され、天候が危ぶまれましたが、当日は好天に恵まれ、去年と同様1000人を超える来場者がありました。

「送りたい みらいの自分に 綺麗な歯」を標語に、歯の衛生に関する正しい知識の普及を図り、歯科疾患の早期発見・早期治療、予防処置の励行を徹底することにより歯の寿命を延ばし、市民の健康保持増進に寄与することを目的として行っています。

2年ほど前から、様々な事情で中断しておりました歯の祭典オープニングイベントですが、今回、会場の問題や出演者問題をクリアでき、野外ステージで開放感あるイベントを行うことができました。熊本応援バンド ブックベアーが未来へGo Go 8020推進ソング、朝ごはんを食べよう、歯磨きソングなどを演奏し、開会に花を添えてくれました。10時50分より宮本会長の挨拶、開会宣言、開場という段取りでしたが、待ちきれない相談者がブース前にスタンバイされている状態でした。11時30分からは、「始めよう予防歯科 早ければ早いほど効果大!!」という演題で、けやき通り歯科・矯正歯科の西村幸郎先生の講演会有り、約50名の聴講者が熱心に聴いておられました。8020推進員の皆様方から、「凄くためになる講演でした。是非、次回もお願いします。」というお言葉も頂きました。今回も12のコーナーを設け、イベントを展開していきました。去年より来場者が多少減少したように思いましたが、その分充分な対応ができたのではないかと思います。

各コーナーの来場者数は以下のとおりです。

自分に「綺麗な歯」 年齒と口の健康週間～

歯の何でも相談

(口腔外科相談を含む) 43名

矯正歯科相談 75名

小児歯科相談 58名

歯科衛生士会 125名

お口の介護予防 43名

口臭測定 142名

技工士会 208名

熊本歯科衛生士専門学院紹介 125名

8020オープンハウス 274名

フッ化物洗口体験 274名

お口の健康ゲーム 283名

おもちゃくじ 306名

総来場者1176名という結果でした。

今回から新たな試みとして、歯科医師会中央支部、東部支部、西部支部から6名の先生方に参加いただき、「歯の何でも相談」コーナーにて直接、市民の方々の声を聞いて頂きました。

反省会に於いても、貴重な意見を頂き感謝しております。ありがとうございました。

歯科医師会唯一の対外的なイベントである歯の祭典。来年は、もっと盛り上げていきたいと思っております。ご協力のほど宜しくお願いいたします。



ワイ入選しちゃった



くじ引きコーナー



口臭測定コーナーは大忙し



講師の西村幸郎先生



58名が相談に訪れた

(地域保健 井野 健)

～食育と歯について考えよう～

平成27年度『歯っぴーキッズ』

5月31日（日）熊本市動植物園植物ゾーンにおいて、『歯っぴーキッズ』が開催されました。主催は熊本市（熊本市保健子ども課、熊本市健康づくり推進課、8020健康づくりの会）で、市歯科医師会が共催し、子供の歯の健康についての啓発活動として行っているイベントです。晴天に恵まれ多くの家族連れで賑わいをみせていました。

歯科医師会は、8020健康づくりの会、健康づくり推進課と同じブースで、『歯の無料相談コーナー』として活動しました。

相談内容は、子供のカリエスの有無・歯列不正・癒合歯・咬合に関するものでした。今回、特に目立ったのが「乳歯列期の反対咬合の治療

開始時期の相談」です。医院によって説明が異なり不安になられている方もいらっしゃいました。

相談者数の内訳は、幼児36名、学童32名、思春期2名、18才～29才3名、30才～39才7名、40才～64才7名、65才～74才6名、75才以上4名という結果でした。

熊本市は幼稚園児・小学生の親子にフッ素の有効性を説明、体験コーナーも設置し学校での普及を目指し積極的に活動されていました。

各コーナーのスタンプラリーも好評で、終了時間の16時前になると焦って走りまわっている子供たちを多数みかけました。最後は同じブースの方々と写真撮影をして無事終了となりました。



70名が相談に訪れた

（地域保健 磯野誠一）

～歯グラシの使い方を指導～

平成27年度 歯磨き巡回指導（前期）報告

平成27年度歯磨き巡回指導は、今年10校中の前期分、6月10日（水）植木町の山東小学校から始まり、6月30日（火）中島小学校まで5校行いました。山東小学校は、熊本市に合併後、初めて歯磨き巡回指導を行いました。

6月16日（火）龍田小学校は雨でした。

龍田小学校は、創立130年の歴史ある小学校で、児童数1256名の熊本市内一のマンモス校です。教室が足りないためプレハブ校舎があり、校内は迷路のようでした。

来年、4月に、北バイパス沿いに龍田西小学校が開校する予定ですので、マンモス校の龍田小学校での歯磨き巡回指導は、これが最後かと思われます。

3年生で209人、特別支援学級も32人のため、衛生士会を総動員、学校歯科医の伊東隆利先生およびスタッフ、私のところの衛生士、福本委

員のところの衛生士と人員を集めました。

今回から歯磨き巡回指導の内容を少し改めて行いました。どうしても、1時限45分授業では、時間的に押してしまうので、歯垢染め出し剤で染め出す範囲を前歯だけに限定しました。

赤くなったところ、特に歯間部、歯頸部を確認してどのように磨いていくか、歯ブラシをどのように使用したらいいかを教えています。

順調にいくと少し時間がとれたので質問を受けると、かなり難しい質問が…。

どうして、歯は生え変わるのですか？〇〇さんは、生え変わったのに私のは、なかなか生え変わりません。など。

今回、ご協力くださいました学校歯科医の先生、並びにご同伴の衛生士さん方、スタッフの方、熊本県衛生士会熊本支部の皆様方ありがとうございました。



くまモンの弟も応援



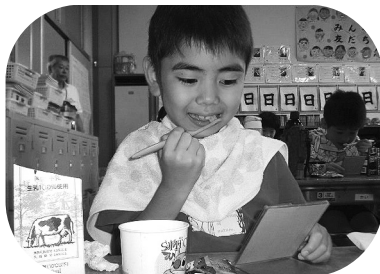
バイキンマンだー



寸劇に引き込まれる



よーし磨くぞー



なかなか取れないなー



チェックしまーす

（学校歯科 井手裕二）



今日は楽しんで下さい

夏だ!! ビア

第39回 熊本市



古賀明元会長による乾杯



来賓の宮坂圭太県歯副会長



7月11日（土）19時より第39回熊本市歯科医師会親睦大会（ビアパーティー）が、熊本メルパルクホールにて行われました。

今年度より初めて熊本メルパルクホールに会場が変わりましたが、150名の先生方にお集まり頂き楽しく開催されました。

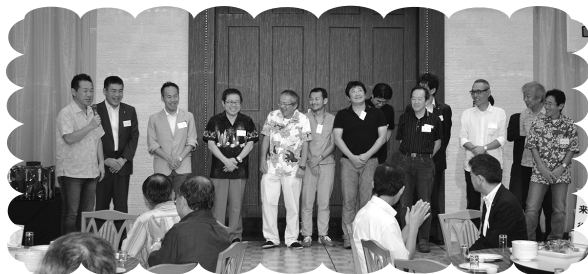
開宴後、主催者を代表いたしまして熊本市歯科医師会会長 宮本格尚先生が、会員の先生方に日ごろの市歯科医師会への協力に対して御礼を述べられた後、新役員の先生方の紹介が行われました。

新執行部の先生方の紹介がありましたが、やる気と意気込みがひしひしと伝わってきました。

今回は、御来賓に熊本県歯科医師会副会長 宮坂啓太先生 熊本県歯科医師会常務理事 牛島隆先生のお二人をお招きし、代表で宮坂啓太先生に、御挨拶を貰いました。また、今年も御樽を頂きまして、誠にありがとうございました。

そして、熊本市歯科医師会元会長の古賀 明先生の乾杯の音頭で、楽しい宴の始まりとなりました。

例年と同じく、各支部ごとの席次にテーブルを囲み、ビール（瓶）はもちろん、日本酒、焼酎、ワイン、ウイスキーと、美味しい食事に皆、舌鼓



新執行部の紹介



まだまだ酔ってません



カメラ目線がいいですね

パーティー〜 歯科医師会親睦大会

を打ちながら、多めに食べて飲んで次第に、笑い声や楽しそうな会話が各テーブルから沸き上がり、会員間の親睦もより一層深めていただけたと思います。

暫くすると、秋山委員の司会で今年もビンゴゲームの始まりとなりました。

ゲームの景品はかなりの品数だと思われ、続々と「ビンゴ!」と楽しそうな満面の笑みで、受け取っている先生方がとても印象的でした。

楽しいビンゴゲームが終わると、いよいよ終宴の時間となり、牛島隆先生による万歳三唱のご発声を頂き、親睦大会もお開きとなりました。

ご参加いただいた先生方、本当にありがとうございました。

厚生委員は、今期より新たな構成となりました。

より一層会員の皆様楽しんで頂けるように、一丸となって頑張っておりますが、不行き届きの点も多々あった事を、この場をお借りしてお詫び申し上げます。

来年も多くの先生方と元気に親睦大会でお会いできることを祈念いたします。

(厚生 吉井裕二)



さあー今日はとことんいくぞー



いい笑顔です



ビンゴ最後は競争が激しい



木村洋会員、賞品ゲット



やった、ビンゴ!



来賓の牛島隆県常務理事による締め



皆様に感謝します



渡辺猛士副会長による乾杯



素晴らしい乾杯でした



やるぞ！医療相談



事務方にも感謝



お疲れ様 台 同



2013年に、新しい定款の元に初めての理事選挙が行われ、新しい執行部が生まれました。理事選挙もさることながら、政令指定都市にある歯科医師会として、行政との対応も多く生まれました。また、均等割りの変更や規則の見直し、将来をみすえた会務執行方法の検討など、激動の2年間が終わります。節目を迎える6月に、委員会を一同に介しての合同委員会が6月11日（木）山本屋にて開催されました。

全ての常任委員会をはじめ、臨時委員会や特別委員会、さらには外部協力組織として、いろいろなご意見をいただいている各支部長も参加して、総勢80人以上の会合となりました。開催日は、久しぶりの梅雨の豪雨で、天草・城南地区は、避難勧告がだされた日とあり、集合が危惧されましたが、時間通りの開催となりました。まずは、宮本会長より、2年間の会務運営への感謝を伝える挨拶から始まります。その後、渡辺副会長の乾杯へと続き、会食に入ります。

今回は、趣向をこらして、単なる会食に終わらないように、工夫しました。まず、全員紹介です。委員会活動では、とすれば自分の委員会しか面識がないこともあるかもしれません。折角の機会ですので、全員を紹介することにしました。まずは、事務局の女性3人（キャンディーズではあり



各理事による紹介



でした～

委員会



ませんが) から開始し、常務会・特別委員会・支部長と続き、各委員会を理事より紹介しました。最後に、監事の紹介で、80名。お互いに2年間の会務執行の賞賛を含めて拍手が続きました。

その後、しばらく会食の後に、メインイベントです。今回は、初の試みで、委員会対抗「かぶって、たたいて、ジャンケンポン」を行いました。メガホンと風呂桶を準備し、敗者には、マジックでの落書きが待っているという、各人の性格が出てしまうイベントです。ジャンケンになかなか勝てない基本的部分での問題の先生や、常にたかこうと、メガホンに手が伸びる先生など様々で、大いに盛り上がりました。地域保健担当理事の腹落書きもでて、最後は、ゲームに関係なく、あちこちで落書きがあっていました。当然、会長以下、常務もしっかり、落書きされています。

2時間という時間はあっという間にすぎ、落書き顔の田中副会長の3本締めでお開きとなるはずでしたが、ここで、山室先生の「近年まれにみる盛り上がる合同委員会」とのありがたい一言があり、執行部は、心も顔もおなかも満足して、合同委員会を終えることができました。各委員の先生方、支部長の先生方、2年間ご苦労様でした。

(専務理事 高松尚史)



滝井理事退任お疲れ様でした



広報委員会は全員続投



アトラクションに大盛り上がり



来期もよろしくね



完全セーフ



ぎりぎりセーフ

***** 歯質の保存・歯の保存 ～破折線からの考察～ *****

片山歯科医院（高森） 片山建一

歯牙の修復治療は様々な方法・材料があり、補綴形態においても多種多様である。歯牙の削除量を中心に、歯質の保存と歯の保存どちらを優先するのか、また歯牙の器質的変化をどのように捉えるのか、という点から修復治療の選択基準を私なりに考察した。また、临床上よく遭遇する破折線を、天然歯ならびに抜去歯で観察した。そこから得た考察も踏まえ症例を提示する。

【歯質の削除量からみた補綴物】

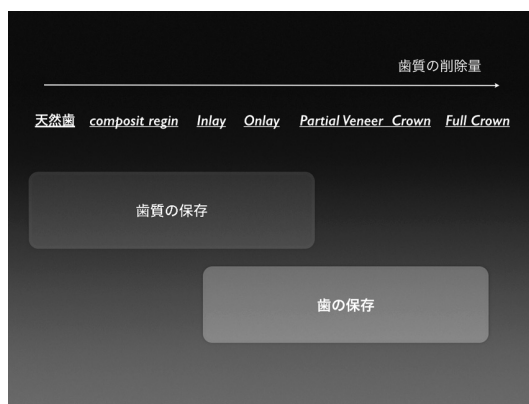


写真 1

【破折線の観察（天然歯）】

- ・Ⅰ級、Ⅱ級窩洞修復歯の辺縁隆線部に多くの破折線を認める。



写真 2

- ・修復材料はインレーやアマルガムが多く、コンポジットレジンが少ない。
- ・破折線を認める歯牙のほとんどがガイドに關与している。



写真 3

以上のことから

- ・白歯の形態から垂直・水平方向に加わる力は、歯牙を頬舌的に分断するような力になり得る。
- ・咬合面の修復治療により頬舌側をつなぐエナメル質を切断することは、力に対する抵抗力を減弱させると考えられる。
- ・臨床で散見するⅠ級もしくはⅡ級窩洞の近遠心に見られる破折線は、その影響を受けた一つの特徴であると考えられる。

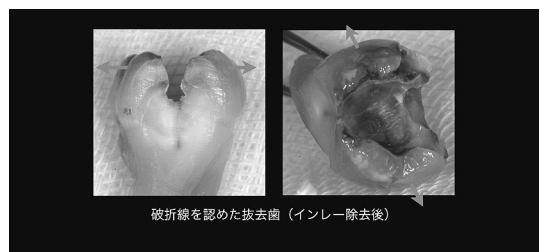


写真 4

【破折線の観察（抜去歯）】

辺縁隆線部に破折を認めるⅠ・Ⅱ級窩洞修復歯31本を観察した。

【検討項目】

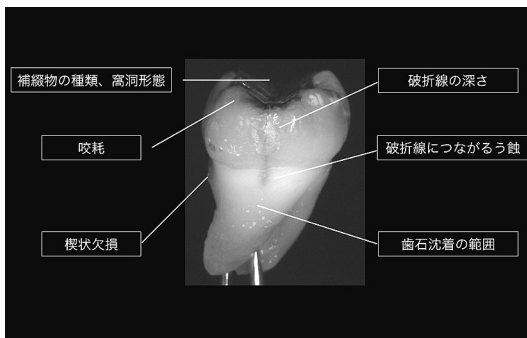


写真 5

【観察方法】

近遠心に認める破折線を削っていき、破折線が消失した部位を確認した。修復物はすべて除去し、窩洞内の状態も観察した。

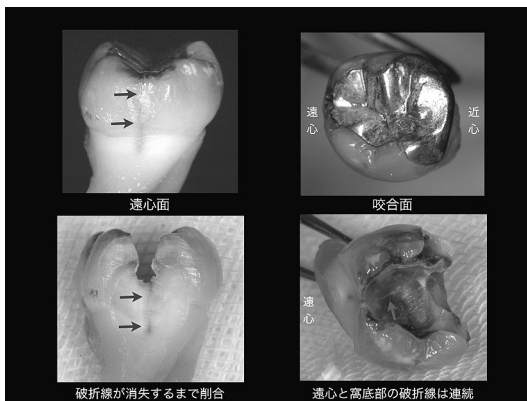


写真 6

【結果】

	材質・形態	破折の深さ	う蝕	WSD	咬耗	歯石
上顎大白歯	II級 Am	D	破折との明らかな関連性はない			-
下顎大白歯	II級 In	E				-
上顎大白歯	I級 Am	E		+	+	根尖
上顎大白歯	I級 Am	D		+	+	根 1/2
上顎大白歯	II級 In	D	+			根 1/3
上顎大白歯	I級 Am	D				根尖
上顎大白歯	I級 Am	P				根尖
下顎大白歯	II級 In	P			±	根 1/2
下顎大白歯	II級 CR	D			±	根 1/2
小臼歯	I級 CR	D	+	+		根 1/2
下顎大白歯	II級 In	P				-
上顎大白歯	II級 In	D				-
小臼歯	II級 In	D		+	±	根 1/3
上顎大白歯	I級 CR	E		+		-

写真 7

	材質・形態	破折の深さ	う蝕	WSD	咬耗	歯石
下顎大白歯	II級 In	E			±	歯頸部
下顎大白歯	I級 Am	D		+		根尖
上顎大白歯	I級 Am	D				根尖
下顎大白歯	I級 Am	E	+	+	+	根 1/2
下顎大白歯	I級 Am	E			±	根尖
上顎大白歯	I級 Am	P			+	根尖
下顎大白歯	I級 Am	D		+	±	根尖
上顎大白歯	II級 In	P			+	根 1/2
上顎大白歯	I級 Am	E				根尖
上顎大白歯	I級 In	P	+			根 1/2
小臼歯	II級 In	D			+	根 1/2
上顎大白歯	I級 In	D			±	根尖
下顎大白歯	I級 Am	E	+		+	根尖
小臼歯	I級 Am	D	+			根尖
下顎大白歯	I級 Am	E			+	根尖
下顎大白歯	I級 In	D			+	根 1/2
上顎大白歯	I級 Am	E	+			歯頸部

写真 8

【修復物をアマルガムとインレーで比較】

それぞれ破折線が消失した部位をまとめた。

I・II級アマルガム

破折線が消失した部位	抜去歯 16本中
エナメル質	7本 (43.7%)
象牙質	7本 (43.7%)
歯髄	2本 (12.5%)

I・II級インレー

破折線が消失した部位	抜去歯 12本中
エナメル質	2本 (16.6%)
象牙質	6本 (50.0%)
歯髄	4本 (33.3%)

写真 9

- ・インレーに認める破折線の方が深い傾向にある。窩洞もインレーの方が深い。
- ・インレーでは全体の約83%で象牙質より深部に至る破折線を認めた。
- ・う蝕、楔状欠損、咬耗と破折線に明らかな関連性はなかった。
- ・抜去歯は歯周病罹患歯が多いと考えられる。

【破折線の観察から得た考察】

- ①頬舌的な変形を抑えるため、頬舌側をつなぐ隆線の保存に努める。
- ②コンポジットレジンによる治療は、その目的を達成するための有効な治療方法と考えられる。
- ③破折線は深部に至る可能性を考慮し、治療の際は積極的に介入する。

【症例提示】

直接修復治療でコンポジットレジン充填を行うことにより、隆線を保存することができる。特に初めて修復物を必要とするような初回の治療においては、できるだけコンポジットレジンによる治療を選択している。コンタクトを回復する必要がある場合は、各メーカーの器具を応用している。

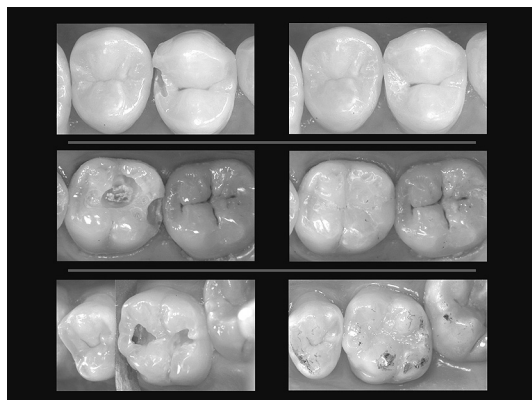


写真10



写真11

【隆線の保存に努めたインレー修復】

Blackの窩洞に反するが、インレー修復においても隆線の保存が可能ではないかと考えた。

咬合面のコンポジットレジンが摩耗し、対合の咬頭が咬み込んでいるケースに時々遭遇する。

I 級窩洞の修復治療においても、安定した咬頭嵌合位と耐久性を必要とする場合は、耐摩耗性を有する材料で間接修復治療を選択する場合もある。

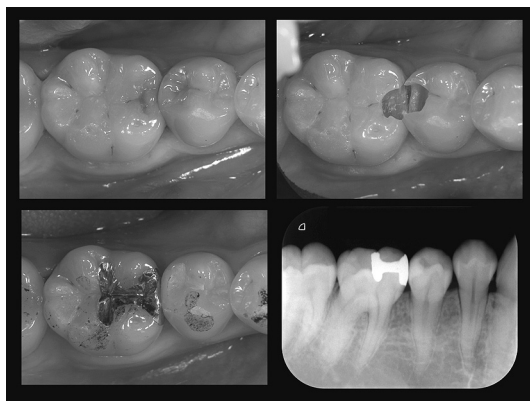


写真12



写真13



写真14

【楔状欠損】

抜去歯を観察した結果、楔状欠損と破折線との明らかな関連性はなかったが、楔状欠損を認める歯牙にI・II 級窩洞の形成を行うことはリスクを伴うのではないかと考えた。また、大きな楔状欠

損を認める歯牙にコンポジットレジンで充填することで、力に対する抵抗になり得るかもしれないと考えている。

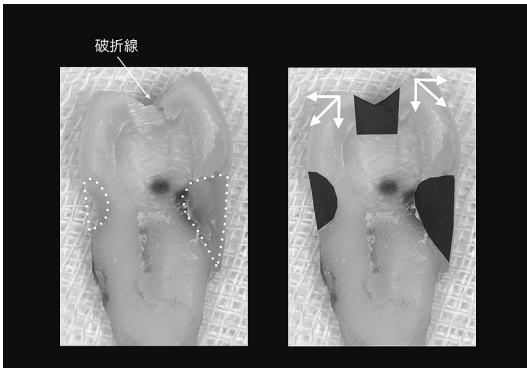


写真15

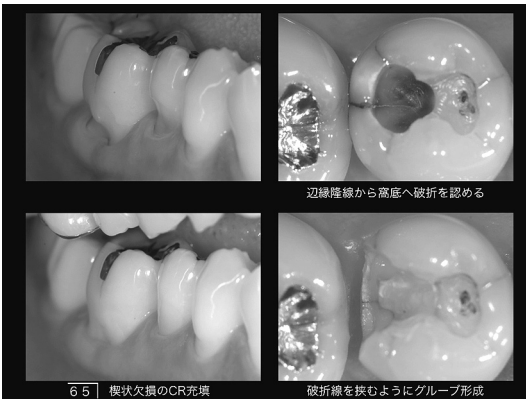


写真16

【破折線を認める歯牙の治療】

抜去歯の観察結果から、特にインレー修復歯に認める破折線は深部に至る可能性が示唆された。



写真17

そこで破折がさらに進行しないよう、頬舌的にタガをはめるハーフクラウンやフルクラウンを選択することが多い。歯質の保存より歯の保存を優先することで、歯質の削除量が増えることはやむを得ないとする。

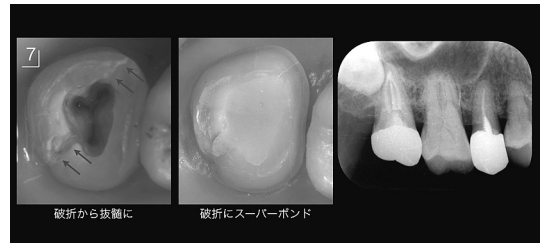


写真18

ここまでの内容を表にした。

歯質の保存	歯の保存 歯質の削除量 →	
composit resin	Inlay Onlay Partial Veneer, Crown	Full Crown
カリエス (小さい、初回)	カリエス (大きい、再治療)	破折線 破折
咬耗 楔状欠損	失活歯	

写真19

歯質の保存と歯の保存が重複する領域は、日々の臨床においても常に治療方針に悩まされる。補綴物の形態も多種多様である。

【まとめ】

- ・ 歯質の保存をベースに歯牙に生じた器質的変化をどう捉えるかによって、修復物の選択ならびに補綴設計を行う。
- ・ 咬耗や楔状欠損と違い、破折に関する治療は歯質の保存から歯の保存を優先すべき状態と考えた。

【参考文献】

- 1) Analysis of factors associated with cracked teeth.
Soe DG, YiYa, Shin SJ, Park JW. J Endod 2012; 38(3): 288-292
- 2) エナメル質亀裂の発生状況と関連症状に関する臨床調査
韓臨麟ら 日歯保存誌51(6): 614~621, 2008

委員会紹介

学 術 委 員 会



- | | |
|------------------|----------------------|
| ①氏名 | ⑤その他、趣味、特技、私のこだわり、など |
| ②開業場所 開業年数 所属支部 | ⑥歯科界に一言 |
| ③家族構成 | ⑦委員会に所属しての感想 |
| ④最近感動したこと、憤慨したこと | |



①大塚 昭彦

②北区麻生田

15年

北部3

③妻、長女、長男、次男の5人家族

④2003年の年賀はがきの切手部分のヒツジは、マフラーを編んでいたのだが、2015年のヒツジは、編み上がったマフラーを首にかけていた。という情報を知った時、ちょっと感動でした！

非常識なイスラム国

⑤スポーツ観戦、息子とサッカーの練習、こだわりは毎朝ヨーグルトを飲むこと

⑥明るい話題が少ない気がします。最近、皆で一致団結することが大事なかなーと思っています。

⑦勉強熱心な先生方ばかりなので、刺激を受けてます。皆さんが明るくなるような講演会を企画できたら、と思います。



① 村上 慶

② 西区域山

12年

小島

③ 妻、娘一人

④ 感情認識ロボット誕生

ギリシャ国民の現状認識

⑤ ゴルフ、英会話

⑥ 子供達に明るい未来を

⑦ 学術委員をして色々な先生の講演を聞く機会が増え、自分の関心とは違うことも知ることができるようになりました。これからも会員の先生方に有益な情報をお届けしたいと思います。



① 清水 幹広

② 北区植木

19年

北部3

③ 妻と子供3人

④ 最近、治療していた子供達（患者）がいつの間にか結婚して、今度はその子供の治療に来院されていることが何回かあった。つくづく月日が経つのは早いなあ〜と実感…今年は50歳、しっかり生きようと考えさせられた。

⑤ 釣り、バイク

⑥ 患者さんの高齢化と有病化を感じる

⑦ 頑張ります



① 関 光輝

② 西区二本木

9年

南部

③ 妻（31歳）・長女（13歳）・長男（11歳）・次女（5歳）

④ 映画「神様のカルテ1・2」を観て鳴咽しました。

⑤ とにかく青（ブルー）が好き

⑥ 何かしらでも貢献したいと思ってます。

⑦ とうとう5期目になりました。いまだに學術っぽくないと言われます（笑）



- ①山口 英司
- ②東区新外
10年目
東部 3
- ③妻と小学6年生の男の子一人
- ④患者さんからいただく感謝の言葉
自分の腹
- ⑤趣味はテニスですがあまりできていません。
- ⑥デジタルの進歩が速くて、よく分かりません。
- ⑦皆さんいい人ばかりで、いつも助けてもらって感謝しています。



- ①久木田 大
- ②東区湖東
4年
東部 4
- ③妻、子供2人
- ④子供の成長
- ⑤サイクリング
- ⑥頑張ろう、歯科界
- ⑦とても勉強になります。宜しくお願いします。



- ①椿 賢
- ②西区上代
9年
小島
- ③妻、息子、犬
- ④子供の成長
- ⑤野球
- ⑥みんなで仲良く、楽しく仕事ができる環境を作っていきましょう。
- ⑦僕でいいのでしょうか？
何かのまちがいで…!!

医療管理委員会



①有働 秀一

②中央区南千反畑

15年

北部2

③妻

④

⑤釣り、健康作りの為のテニス

⑥もう少し会員の先生方にとって普段の診療でストレスが少ない歯科界になってくれたらと考えます。

⑦2期目に入りました。対外的な場所で情報収集し、さらに会員への情報提供をしていきたいと考えます。

委員会の先生方とともに医療管理委員会を盛り上げていきたいと思ひます。



- ① **高橋 禎**
- ② 東区下江津
12年目
東部 2
- ③ 妻、娘、息子
- ④ イスラム国の行動には怒りしか出てこないこと。
- ⑤ サバイバルゲーム、システマ
- ⑥ 仕事に対し、適正な評価をしてもらえるようになってほしい。
- ⑦ いろいろな人と知り合うことが出来てうれしいです。



- ① **関 喜英**
- ② 東区桜木
10年
東部 4
- ③ 妻、娘（9歳）、息子（2歳）
- ④ 2歳の息子の言葉の発達が目覚ましいこと
- ⑤ 映画鑑賞（新築してホームシアターを作りました）
- ⑥ 歯科の仕事は楽しいのですが…。
- ⑦ もう何期目だろう。いつの間にか副委員長になってしまいました。
今後ともよろしくお願いします。



- ① **町田宗一郎**
- ② 西区野中
10年目
小島
- ③ 長女（高2） 長男（中3）
- ④ 100キロマラソン完走
- ⑤ マラソン・ジェットスキー
早寝早起き
- ⑥ 保険制度のもと、予防が十分にできるように
なればよいと日々感じます。
- ⑦ 有働理事・高橋委員長の右腕になるようがんばりたい。



①片山 晃紀

②西区島崎

7 年

西部

③妻、長女（10歳）、次女（6歳）

④先日、家族でユニバーサルスタジオジャパンに行った。初めて、新大阪まで新幹線に乗ったが、そのスピードに改めて感動した。

⑤真鯛釣りにハマっています。

⑥とくにありません。

⑦とても勉強になっています。また、委員会メンバーも仲が良く、楽しくやっています。



①宇都 和寿

②中央区段山

4 年

西部

③妻 1 人、子 1 人

④スタッフから、産後もうちで働きたいと言われて感動した。

⑤趣味ゴルフ

⑥盛り上がって行こう！

⑦先輩方がやさしく、楽しく仕事をさせていただいております。

ラジオ出演など貴重な体験をさせていただき、ありがとうございます。



①森野 茂

②西区池田

5 年

北部 2

③妻、長女、長男

④患者さんから感謝のお手紙を頂いたことです。

⑤最近、ストレス解消のためにゴルフを始めましたが、ボールが思うように飛ばず、かえってストレスがたまることがあります。

⑥子供達が歯科医療に携わりたいと思う夢のある歯科界になってほしいです。

⑦まだまだ委員会の先輩方に教えてもらってばかりですが、引き続きよろしくお願い致します。

社会保険委員会



① **渡辺 洋**

② 東区花立

21年

東部 4

③ 妻：我が家の家長 何と何を言う！

長男：(大学3年) 何をしているやら！

長女：(高3年) 何も聞いてくれない！

次女：(高1年) 何を考えているやら！

犬：チェロ三郎(ビーグル10歳) 何もしない！

④ 2年連続でインターハイで娘が決勝まで進んだこと！

寝室のクーラーが壊れているのに未だにそのままとは…！

⑤ ゴルフ、野球、マラソン、バイク、ビール

⑥ 真面目なものが損するようなシステムを改善しない限り不正は無くならない。

兎にも角にも処点数が安すぎる！

⑦ 長くこの委員会を務めさせていただきました。

各先生方の成長が楽しみです。

また、新たに参加された先生の情報(審査関連)にも期待をしております。



- ① **金本 良久**
- ② 中央区新大江
平成8年6月開業だから…
東部 1
- ③ 妻、娘2人（看護師2年目、高3）、息子1人（高1）の5人家族
- ④ 子ども達とのふれあいがとても楽しく幸せに感じます（感動）
- ⑤ バドミントンと走ることがエネルギー源
- ⑥ 診療について…書くことが多すぎます。
個々の点数が上がれば少ない診療で診療録記載に時間をかけられますが…
- ⑦ 会員の皆様のお役に立てれば幸いです。



- ① **井口 泰治**
- ② 東区若葉
22年
東部 4
- ③ 妻と子供3人
- ④ 小6の息子が打った柵越えのホームランには感動した。
- ⑤ 子供の野球にどっぷりつかってます。
- ⑥ 少しでも良くなればと願うのみです。
- ⑦ もう何期目かわからなくなってきました。



- ① **栗原 健一**
- ② 中央区新町
9年
西部
- ③ 妻 子供3人
- ④ 沖縄の基地問題（辺野古移設）。移設は沖縄県民があれだけ反対されているので、もっと配慮した方がいいと思います。
- ⑤ フルマラソンを歩かずに完走する事を目標に、ジョギングしています。
- ⑥ 子供が将来なりたいと思えるような職業になればと思います。
- ⑦ 微力ながら会員の先生方のお手伝いが出来ればと思います。



- ①西山 挙規
- ②北区高平
8年
北部1
- ③妻、娘
- ④5才の娘が絵が上手にかけerようになったこと
T P P
- ⑤温泉めぐり
- ⑥お互いに頑張りましょう
- ⑦色々な事を相談でき、感謝しています。



- ①福田 勇人
- ②南区富合
4年
川尻
- ③妻と二人暮らし
- ④年始にうまくいけば家族が増えること。
- ⑤趣味 釣り、卓球
- ⑥医歯薬連携について今期は勉強したいと思います。
- ⑦社保に入れていただき次が2期目になります。
先輩方が優しく勉強にもなり、入れていただき本当に良かったです。
まだまだ勉強不足ですので頑張りたいと思います。



- ①宇治 寿隆
- ②中央区大江
開業51年（代替わり後7年）
東部1
- ③独身
- ④世界水泳 200m個人メドレー 渡部香生子
銀メダル
毎日暑すぎる
- ⑤音楽（鑑賞、演奏）、ゴルフ（涼しい時だけ）
- ⑥歯科医の先生方、一致団結、徒党を組んで頑張っていきましょう！
- ⑦少しでも会員の先生方のお役に立てるように精進し頑張ります！

支部だより

谷口守昭支部長の続投が決定 北部3支部通常総会

7月25日（土）17時30分より市歯会会議室において、来賓として宮本尚格市歯会会長をお迎えして、通常総会を開催した。

宮本会長より、現状報告を兼ねた挨拶の後、谷口支部長より会務報告その後、会計報告・監査報告が通常通り行われ、全員の承認を得た。

議事では、支部役員や昨年度の会計決算、平成27年度の事業計画案などが話し合われ、谷口支部長の続投を含め全ての案件が承認された。

続投が決まった、谷口支部長は今年度中に支部会員の古希祝い（田中聖一先生）、還暦祝い

（井上泰子先生）また、各種講演会の計画などの抱負を表明された。

総会終了後、熊本県支払基金審査員である勇励先生を講師にお迎えして社保講演会が開催された。普段は聞けない審査の裏事情を話して頂き、今後レセプト請求する時に大変役に立つ情報で支部会員は、皆真剣に聴講し質問も活発に飛び交った。

この講演会が終了後、場所を移して懇親会に入り、更なる研修をして夜が更けていきました。



勉強になりました

（北部3 温 永智）

新人です！よろしくお願いします

新 入 会 員 紹 介



氏 名 井口 佳大
診療所名 よつば歯科口腔クリニック
(診療所) 〒861-8046
熊本市東区石原1-1-105
電話／096-389-4285 FAX／096-389-4286
生年月日 昭和56年 1 月 9 日
趣 味 ランニング
好きな言葉 ありがとう





スポーツの広場



あつまるデンタルゴルフ会

H27年 4月26日 (日)			17名				
			OUT	IN	GRO	HD	NET
優勝	山室	紀雄	44	46	90	22	68
2位	河野	敬明	48	46	94	25	69
3位	原田	雅史	47	49	96	26	70
4位	関	剛一	51	43	94	24	70
5位	合澤	康生	47	46	93	22	71
B.B.	寺島	美史	60	63	123	36	87

熊本デンタルゴルフ会

H27年 4月26日 (日)			15名				
			OUT	IN	GRO	HD	NET
優勝	千場	正昭	50	47	97	28.3	68.7
2位	松本	光示	43	44	87	13.6	73.4
3位	三笥	司	44	45	89	12.9	76.1
4位	渡辺	博	40	49	89	12.5	76.5
5位	工藤	隆弘	49	51	100	22.4	77.6
B.B.	本田	亘	56	63	119	28.1	90.9

H27年 5月17日 (日)			8名				
			OUT	IN	GRO	HD	NET
優勝	寺島	貴史	50	46	96	26	70
2位	田村	実雄	54	47	101	27	74
3位	本田	治夫	52	54	106	31	75
4位	河野	敬明	48	49	97	22	75
5位	濱坂浩一郎		54	49	103	28	75
B.B.	大森	秀則	54	54	108	25	83

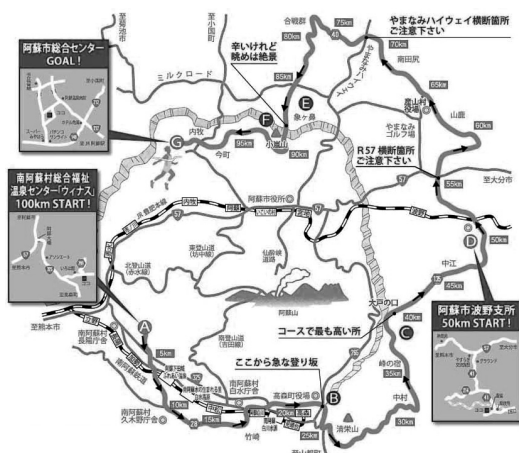
H27年 5月24日 (日)			8名				
			OUT	IN	GRO	HD	NET
優勝	甲斐	利博	42	44	86	18.9	67.1
2位	大嶋	健一	41	43	84	15.3	68.7
3位	工藤	隆弘	46	46	92	22.1	69.9
4位	三笥	司	42	44	86	14.0	72.0
5位	渡辺	博	43	43	86	13.3	72.7
B.B.	神戸	威	50	53	103	23.7	79.3

H27年 6月14日 (日)			8名				
			OUT	IN	GRO	HD	NET
優勝	田村	実雄	47	52	99	27	72
2位	本田	治夫	52	54	106	31	75
3位	合澤	康生	51	51	102	21	81
4位	河野	敬明	53	50	103	22	81
5位	山室	紀雄	53	49	102	18	84
B.B.	安田	光則	59	50	109	20	89

H27年 7月19日 (日)			14名				
			OUT	IN	GRO	HD	NET
優勝	渡辺	博	43	46	89	19.2	69.8
2位	三笥	司	43	47	90	18.0	72.0
3位	添島	正和	53	46	99	26.4	72.6
4位	大嶋	健一	41	42	83	9.6	73.4
5位	稲葉	逸郎	41	38	79	4.8	74.2
B.B.	内田	隆	52	51	103	20.4	82.6

「かなし三人衆」 デンタル歯知ろう会 阿蘇カルデラスーパーマラソン100kmを完走！

東部 3 奥田 良樹



阿蘇カルデラスーパーマラソン

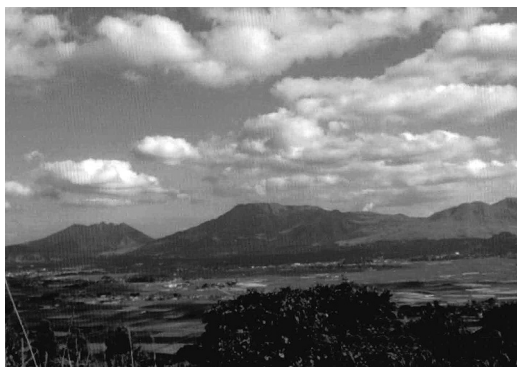
平成2年から始まり今年で25回目の開催。南阿蘇村ウィナスを朝5時にスタートし阿蘇外輪山を反時計回りに100km走るウルトラマラソン。ゴールは内牧温泉。18時30分までの13時間30分でゴールしないと失格。参加者（100kmの部1177名。50kmの部657名、総人数1834名で過去最高の参加人数）、今回の完走率65%。優勝者記録7時間24分48秒

平成27年6月6日（土）今年の中岳の噴火で阿蘇周辺は火山灰が降り続き「阿蘇カルデラスーパーマラソン」は中止になるか!?と思ったが、早々と開催が決まり、100kmと50kmの2種目で阿蘇カルデラのアップダウン連続のハードなウルトラマラソンへのエントリーは受付開始わずか2日間で定員となる人気のレースが絶好の天気の下行われた。

今回、デンタル歯知ろう会（会員10数名、会長小野秀樹）から 小野、町田、宮田3人の市歯科医師会会員が100kmにエントリー。この3人は昨年このレースに初挑戦…無謀とも思われ

たが3人共制限時間（13時間30分）ギリギリにゴール…

この一年、3人は三者三様のトレーニングを重ねての挑戦。この内、宮田会員は早朝の花岡山往復10kmのランで鍛え、小野会員は運動公園の横にある神園山の通称「みずきロード」（オリンピックのマラソンで優勝した野口みずきが熊本のこの山でトレーニングしたとか）で走りこみ、なんと大会前一週間は大好きなビールをひかえて備え、町田会員は隠密行動のラン(!?)で体重を5～6kg絞り込んでの挑戦でした。



↑90km地点あたり。この日は噴煙もなく阿蘇五岳のネハン像がくっきり見えた

72km地点と97km地点で応援

6日は朝から2名の患者を診て10時カミさんと2人応援グッズ（太鼓や鳴り物）を車に出発。

11時頃、南田尻という長〜〜い坂の途中の72km地点（ここで応援して10年目）に着くともう既にトップクラスは20～30名通過していた。

私と三人衆の所属する「熊本でれっとウルトラマラソンクラブ」（会員数80名）の仲間（37名エントリー）は次々と元気に、時折バテバテで通過していったが肝心の3人衆が13：30過ぎ

ても現れずヤキモキ……

この応援している坂の上500m先に6箇所目の関門があり、ここを14:40内で通過しないとランナーは全てカット、収容される。

13:50 小野会員、元気に走って通過。昨年は時間ギリギリの通過だったが今年は50分も余裕、奥さんとスタッフの応援効果か？

次いで、13:59町田会員、歩いて通過。ダイエット効果でお腹がへこみランナー体型になっていた。

この2人が通過して20分後、いつものニコニコ笑顔で宮田会員通過。時間制限の関門まであと15分というギリギリであった。

完走できるか心配で97km地点へ

あと残り28kmだが、既にフルマラソンの倍近く走っているので肉体も精神もボロボロまあ、これが“ウルトラマラソンの世界”ではあるが。

—

懸命に走っている3人衆をよそに我々2人は産山の「花の温泉館」でゆっくりと入浴。休息後は内牧入口近くの最終エイドのある97km地点へと移動し応援。

日差しはますます暑くなり、ほとんどのランナーはエイドに大量に準備してある水をひしゃくで頭かけふらふらとゴールを目指して走り続けていく。

「かななし3人衆」は順番通り 小野、町田、宮田となんとか走ってきて無事通過——残り3kmもう歩いてでも完走できる!!

3人3様の頑張りに涙が出そうになった……

応援ついでにホタル狩り

私は阿蘇カルデラ100kmを47才から10回連続出場、完走し58才から10年応援に来ているので内牧は地元?!みたいなところである。阿蘇駅に近い「小次郎淵」という焼肉店は肥後の赤牛と地鶏を炭火で焼いて食べる人気店で釜めしも絶品。当然ビール、焼酎（運転手はカミさん!）また、偶然新聞で知った内牧での『碧水ホタル見物』が当日の19:40からあることを知り、探

し歩いて約30名の団体と合流。井手沿いにホタルを育てる場所が点々とあり、50年振りにホタルの乱舞（といっても20〜30匹）を見物して22:30帰宅。それなりに充実した1日だった。

阿蘇カルデラスーパーマラソンを終えて



↑（72km地点）宮田会員 14:20通過
この写真を撮るときだけ笑顔で走る！熊本城マラソンをきっかけに走り始め、12kgの減量に成功したそうだ

宮田正孝（13時間4分24秒）

「新たな発見があった100kmマラソン」

阿蘇カルデラスーパーマラソンについてよく尋ねられる事

「スタートは何時？」……AM5:00です。
「何時間かかると？」……1位が7時間半ほどで、ゴール関門が13時間半です。
「何人ぐらい出とると？」……1600名ほどです。
「皆ゴールすると？」……リタイアはもちろんのこと途中に各関門がありバス収容されます。完走率65〜70%です

「足は痛くならないと？」……痛いデス。
「ご飯はどうすると？」……途中のエイドで補給食を摂りながら走ります。
「天気が良くてヨカッタね！」……晴れると灼熱地獄となり完走者率が下がります。

そんな大会に2回目の挑戦をいたしました。
前は辛くて、辛くて止めたい気持ちと戦いながら各関門にギリギリでゴールしました。

終盤には足底部が板になったような感覚があったので、今回は足底部のアーチを保てるようにテーピングをし、擦れて痛くなりそうな腋や股にワセリンを塗り込んで準備しました。

フルマラソンで急ぐと足が攣る習性があるので、今回もペースを落として臨みます。

今回は出場18回というマラソンクラブの先輩にコースの説明や走り方など教えてもらいながら進みました。とはいってもペースが異なるので抜きつ抜かれつの状態です。

エイドでは水はもちろん、痙攣防止のために塩・梅干しを必ず摂り、エネルギー切れでフラフラ状態のハンガーノックとならぬよう補給食も積極的に摂ります。

2回目でコースも憶えがあるので今回は違った見方が出来ました。辛くなる65kmあたりの酒店で力水（ビール）を購入しゴクリとやると、5kmほどは生き返ったように走れました（笑）。

しかし80km過ぎからは、やはり辛い……。思わずコースに立ち尽くし、走歩を繰り返します。今回は「神様ありがとう。自分の足で走れてます！」と生きていることを感じ、感謝しながら乗り切ることが出来ました。やはり走れる身体があり、出場できる環境が無いと出来ないことですから……。

象ヶ鼻より見える景色は絶景です。走ってきたであろう外輪山が雄大で阿蘇五岳の涅槃像に感動しました。ラスト3kmでは「行けるぞー！」と周囲の選手と声をかけ合いながらゴールを目指します。“あと500m”の表示からは全力で走りました。タイムは昨年とあまり変わりませんが心持ちが違くと見え方や感じ方が変わることが分かりました。

最後に、尻にワセリン塗るのを忘れてしまい風呂でヒリヒリしました（笑）

単純に手を合わせ13時間ゆっくり擦っていると皮膚が擦れ、腕の筋肉が疲労するのは容易に想像できるでしょう……そんな感じかな？（笑）



↑（72km地点）町田会員 13：59通過
この場所は長〜い登りの途中で歩いて力を蓄えるところ。体をしぼりランナー体型になってきた

町田宗一郎（13時間5分20秒）

真夜中1時半。普段なら飲んでいてもおかしくない時間に飛び起き、阿蘇へ出発。手続きを済ませ100キロの長い長い道のりへ朝5時スタートした。

昨年より出場し、今回で2回目。不純な動機で始めたマラソンも、今では中毒になりつつある。土地勘無く、どこをどう走ったかわからないが、とにかく上り下りの激しいコース。途中ベテランの年配ランナーが「わしは、20回走るとるばってん、100キロだけは何が起きるかわからん。」と。不安になりながら「ゴールでまた会いましょう！」と硬く約束を交わし、別れた。50キロ地点、波野で蕎麦を頂いた。エネルギーを使い果たした体に素早く吸収された。スイカも美味しく、元気を取り戻した。その後、順調に走り続けたが魔物がいると言われる80キロ過ぎ、左膝に痛みが走った。歩く事しか出来ず、心は折れた。なぜこんな苦しい思いをして走っているのだろうと考え始めた。救護のバスがひっきりなしに通り過ぎる、最後の15キロは地獄だった。それでも頑張って13時間5分でゴール。涙が溢れた。サポートしてくれた方々、先輩の方々、たくさんの勇気をありがとう。感謝。



↑ (72km地点) 小野会員 13:50通過。
 昨年の夏場ラン&ドボン20kmで鍛えてきた足の
 ふくらはぎの筋肉がスバラシイ

小野秀樹 (12時間11分14秒)

熊本城マラソンと共に始めたマラソン、今年で5年目に突入する。フルマラソンチャレンジ！が気がつけば昨年より阿蘇カルデラスーパーマラソン100kmの部に出ている。今年は2度目の

チャレンジ。昨今のマラソンブームからフルマラソンについては色々な方と話すことが多いが、100kmマラソンとなるとちょっとおかしい人として見られるのであまり公言できず、人知れず楽しんでいます。初挑戦の昨年は関門ギリギリの13時間15分でのゴール。今年は昨年の反省点を日頃より克服するべく練習を積んだ。レース前は月間350kmの練習を目標にし、練習コースに運動公園隣の神園山を入れ、坂道トレーニング。1週間の禁酒で内臓を休める、等。その成果あってか今年は関門を気にすることなく昨年より1時間以上早い12時間11分のタイムでゴール出来た。途中きついのは当たり前、楽なレースではなかったがラスト15kmは気持ちよく走ることができた。もうまぐれの完走ではない。今回もレース中、山あり谷あり、色々ドラマがあり、共に走るランナーと競走ではなく走る一体感が味わえた。私もウルトラの魅力にハマってしまったかもしれない。



会 務 報 告

理 事 会

月 日	協 議 題
5 月28日 6 月17日 7 月30日	・ 会務、会計、庶務報告 ・ 会務、会計、庶務報告 ・ 会務、会計、庶務報告

学 校 歯 科 委 員 会

月 日	協 議 題
5 月19日 6 月24日	・ 歯磨き巡回指導前期担当者協議 ・ 熊本市学校保健会理事会について ・ 歯磨き巡回指導前期途中経過 ・ 平成27年熊本市学校保健合同研修会について

医 療 管 理 委 員 会

月 日	協 議 題
5 月27日 5 月30日 6 月26日 7 月22日 7 月31日	・ 医療管理講演会について ・ 医療安全協議会について ・ 5 月の医療相談の件について ・ 第69回医療連携セミナーについて ・ 三師会について ・ 開放型連絡会について ・ 救急蘇生セミナーについて ・ 7 月の医療相談の件について

厚 生 委 員 会

月 日	協 議 題
5 月29日 7 月17日	・ ビアパーティーについて ・ 入院入所者統計 ・ 厚生委員会の業務について ・ 在宅委員会の業務について

社 保 委 員 会

月 日	協 議 題
5 月21日 6 月19日 7 月16日	・ 個別指導対策及び周術期口腔機能管理費について ・ 社保、医療苦情オリエンテーション打ち合わせ ・ 今期委員会の指針決定

学 術 委 員 会

月 日	協 議 題
5 月12日 7 月 4 日 7 月14日	・ 7 月学術講演会の役割について ・ 平成27年度熊本市歯科医師会学術講演会 ・ Q & A の順番について ・ 医歯連携セミナーについて ・ 秋の学術講演会について

地 域 保 健 委 員 会

月 日	協 議 題
5 月21日 6 月16日 7 月15日	・ 歯の祭典2015について ・ 歯の祭典2015データ集計 ・ 委嘱状授与 ・ 自己紹介・年間スケジュール ・ 健康フェスティバルの人選

広 報 委 員 会

月 日	協 議 題
5 月 1 日 5 月19日 5 月26日 6 月23日 7 月28日	・ 中岳169号レイアウト ・ 中岳校正（第1校） ・ 中岳校正（第2校） ・ 審議委員会出務決め ・ 定時総会出務決め ・ 中岳反省会 ・ 今後の予定・計画 ・ バインダー検討 ・ 委嘱状渡し ・ 委員会日程決め ・ 写真整理 ・ I T 化検討委員会報告

編 集 後 記

夏が終わり初秋に入ると、何故か、もの悲しい気持ちに子供のころからなっていました。

今年、久々に復活した熊本市の花火大会。夏の終わりを告げ、かつ人々に元気を与えたのではないかと思います。

もうあれこれ考えず、花火のようにパッと生きていきたいものです。

(N.O)

熊本市歯科医師会会誌

第 170 号

発行日 平成27年 9 月15日発行

発行所 一般社団法人熊本市歯科医師会
熊本市中央区坪井 2 丁目 4 番15号

<http://www2s.biglobe.ne.jp/~kdc8020/>

[mail:kda8020@msg.biglobe.ne.jp](mailto:kda8020@msg.biglobe.ne.jp)

TEL (3 4 3) 6 6 6 9

FAX (3 4 4) 9 7 7 8

発行
責任者 宮 本 格 尚

印刷所 コロニー印刷

熊本市西区二本木 3 丁目12-37

TEL 096-353-1291 FAX 096-353-1294